

第5章 青年・壮年・中年期

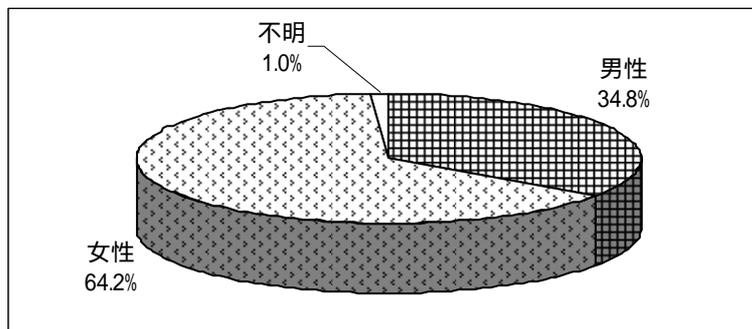
1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が34.8%、「女性」が64.2%となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期、中年期は「男性」が約40%、「女性」が約60%であるのに対し、壮年期は「男性」が26%、「女性」が約73%となっています。

図表 163 回答者の性別 [N=988]



図表 164 青年・壮年・中年期 × 回答者の性別 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

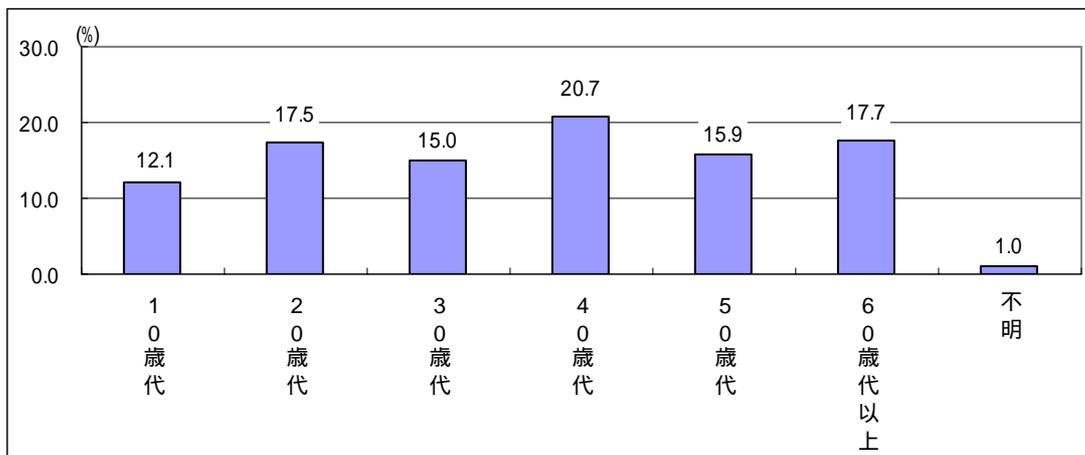
	合計	男性	女性	不明
合計	988	344	634	10
	100.0	34.8	64.2	1.0
青年期	219	87	132	-
	100.0	39.7	60.3	-
壮年期	300	78	220	2
	100.0	26.0	73.3	0.7
中年期	431	163	265	3
	100.0	37.8	61.5	0.7
不明	38	16	17	5
	100.0	42.1	44.7	13.2

* 青年期は18～24歳、壮年期は25～44歳、中年期は45～64歳の方です。

(2) 年齢

回答者の年齢は、「40歳代」が20.7%と最も多く、次いで、「60歳代以上」が17.7%となっています。

図表 165 回答者の年齢 [N=988]

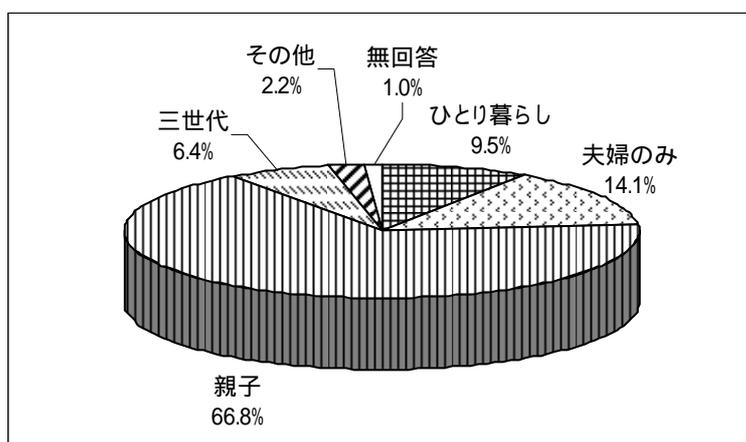


(3) 家族構成

家族構成については、「親子」が66.8%と圧倒的に多く、「夫婦のみ」が14.1%、「ひとり暮らし」が9.5%、「三世代」が6.4%と続いています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期では「親子」が80%を超えているのに対し、壮年期、中年期と年齢が上がるにつれ、「ひとり暮らし」や「夫婦のみ」が多くなっています。

図表 166 家族構成 [N=988]



図表 167 青年・壮年・中年期 × 家族構成 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

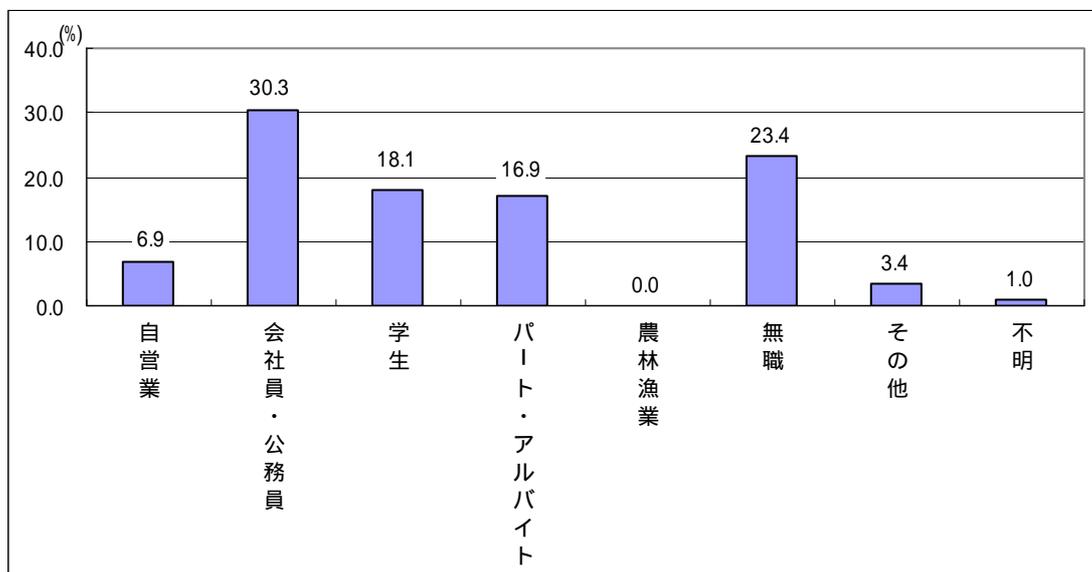
	合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	親子	三世帯	その他	不明
合計	988	94	139	660	63	22	10
	100.0	9.5	14.1	66.8	6.4	2.2	1.0
青年期	219	6	3	178	26	5	1
	100.0	2.7	1.4	81.3	11.9	2.3	0.5
壮年期	300	25	37	218	14	6	-
	100.0	8.3	12.3	72.7	4.7	2.0	-
中年期	431	61	96	238	22	11	3
	100.0	14.2	22.3	55.2	5.1	2.6	0.7
不明	38	2	3	26	1	-	6
	100.0	5.3	7.9	68.4	2.6	-	15.8

(4) 職業

職業については、「会社員・公務員」の割合が30.3%と最も多く、次いで、「無職」が23.4%、「学生」が18.1%となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期は「学生」が約70%、壮年期では「会社員・公務員」が約40%、中年期では約33%となっています。また、「無職」は壮年期・中年期ともに約30%います

図表 168 回答者の職業 [N=988]



図表 169 青年・壮年・中年期×回答者の職業 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

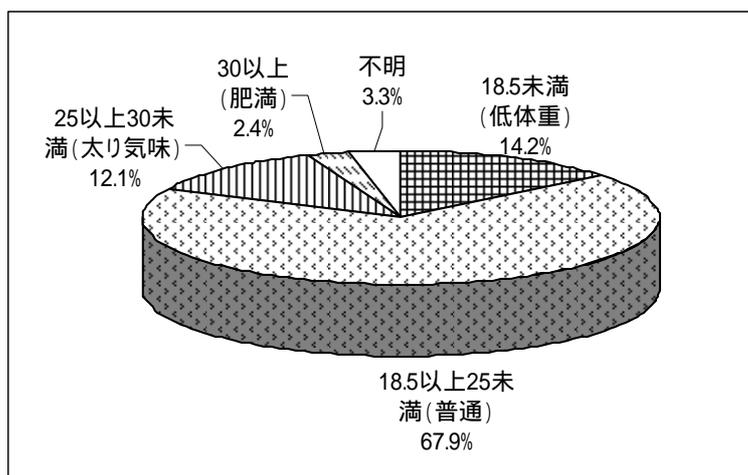
	合計	自営業	社員 公務員	学生	パート アルバイト	農林 漁業	無職	その他	不明
合計	988	68	299	179	167	-	231	34	10
	100.0	6.9	30.3	18.1	16.9	-	23.4	3.4	1.0
青年期	219	4	30	156	19	-	5	4	1
	100.0	1.8	13.7	71.2	8.7	-	2.3	1.8	0.5
壮年期	300	16	122	6	54	-	87	14	1
	100.0	5.3	40.7	2.0	18.0	-	29.0	4.7	0.3
中年期	431	45	144	1	93	-	133	12	3
	100.0	10.4	33.4	0.2	21.6	-	30.9	2.8	0.7
不明	38	3	3	16	1	-	6	4	5
	100.0	7.9	7.9	42.1	2.6	-	15.8	10.5	13.2

(5) BMI

BMIについては、「18.5以上25未満(普通)」が67.9%と最も多く、「18.5未満(低体重)」が14.2%と続いています。

性別、青年・壮年・中年期別にみると、男女ともBMI「18.5以上25未満(普通)」が70%前後となっていますが、中年期、壮年期の男性では、BMI「25以上30未満(太り気味)」と「30以上(肥満)」を合わせると3割前後となります。一方、女性の青年期、壮年期はやせの人が約23%います。

図表 170 BMI [N=988]



図表 171 性×青年・壮年・中年期×BMI [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

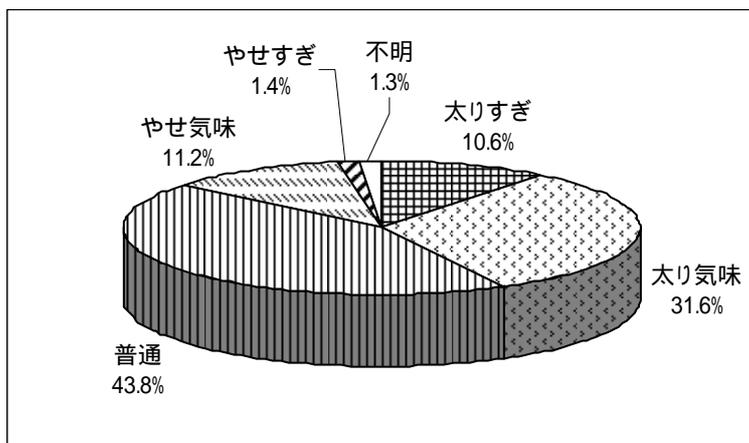
性別	年齢区分	合計	18.5未満 (低体重)	18.5以上 25未満 (普通)	25以上30 未満(太り 気味)	30以上 (肥満)	不明	
男性	合計	344	25	230	69	15	5	
		100.0	7.3	66.9	20.1	4.4	1.5	
	青年期	87	16	64	4	2	1	
		100.0	18.4	73.6	4.6	2.3	1.1	
	壮年期	78	2	52	18	5	1	
		100.0	2.6	66.7	23.1	6.4	1.3	
	中年期	163	1	106	45	8	3	
		100.0	0.6	65.0	27.6	4.9	1.8	
	不明	16	6	8	2	-	-	
		100.0	37.5	50.0	12.5	-	-	
	女性	合計	634	115	437	49	9	24
			100.0	18.1	68.9	7.7	1.4	3.8
青年期		132	30	90	4	-	8	
		100.0	22.7	68.2	3.0	-	6.1	
壮年期		220	50	145	12	5	8	
		100.0	22.7	65.9	5.5	2.3	3.6	
中年期		265	31	191	32	4	7	
		100.0	11.7	72.1	12.1	1.5	2.6	
不明		17	4	11	1	-	1	
		100.0	23.5	64.7	5.9	-	5.9	
不明		10	-	4	2	-	4	
		100.0	-	40.0	20.0	-	40.0	
合計	988	140	671	120	24	33		
	100.0	14.2	67.9	12.1	2.4	3.3		

(6) 自身の体型をどう思か

自身の体型をどう思うかについては、「普通」が43.8%と最も多く、次いで、「太り気味」が31.6%となっています。青年・壮年・中年期別にみると、青年期では半数が「普通」と思っているのに対し、壮年期、中年期では「太り気味」、「太りすぎ」と思っている人が多くなっています。

また、BMI別にみると、「18.5以上25未満(普通)」の場合でも、自身の感覚として、「太り気味」と感じている割合が、3割程度いることがわかります。特に青年期女性のBMI別の意識をみると、「18.5以上25未満(普通)」であるにもかかわらず、「太りすぎ」、「太り気味」と思っている人がかなり多くなっています。

図表 172 自身の体型をどう思うか [N=988]



図表 173 青年・壮年・中年期×自身の体型をどう思うか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	太りすぎ	太り気味	普通	やせ気味	やせすぎ	不明
合計	988	105	312	433	111	14	13
	100.0	10.6	31.6	43.8	11.2	1.4	1.3
青年期	219	15	49	119	28	5	3
	100.0	6.8	22.4	54.3	12.8	2.3	1.4
壮年期	300	37	95	118	43	4	3
	100.0	12.3	31.7	39.3	14.3	1.3	1.0
中年期	431	50	158	180	37	4	2
	100.0	11.6	36.7	41.8	8.6	0.9	0.5
不明	38	3	10	16	3	1	5
	100.0	7.9	26.3	42.1	7.9	2.6	13.2

図表 174 BMI ×自身の体型をどう思うか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	太りすぎ	太り気味	普通	やせ気味	やせすぎ	不明
合計	988	105	312	433	111	14	13
	100.0	10.6	31.6	43.8	11.2	1.4	1.3
18.5未満(低体重)	140	-	2	54	71	13	-
	100.0	-	1.4	38.6	50.7	9.3	-
18.5以上25未満(普通)	671	33	230	365	39	1	3
	100.0	4.9	34.3	54.4	5.8	0.1	0.4
25以上30未満(太り気味)	120	53	63	3	-	-	1
	100.0	44.2	52.5	2.5	-	-	0.8
30以上(肥満)	24	16	6	2	-	-	-
	100.0	66.7	25.0	8.3	-	-	-
不明	33	3	11	9	1	-	9
	100.0	9.1	33.3	27.3	3.0	-	27.3

図表 175 【青年期女性】BMI ×実際の体型 [N=132]

[単位:(上段)件/(下段)%]

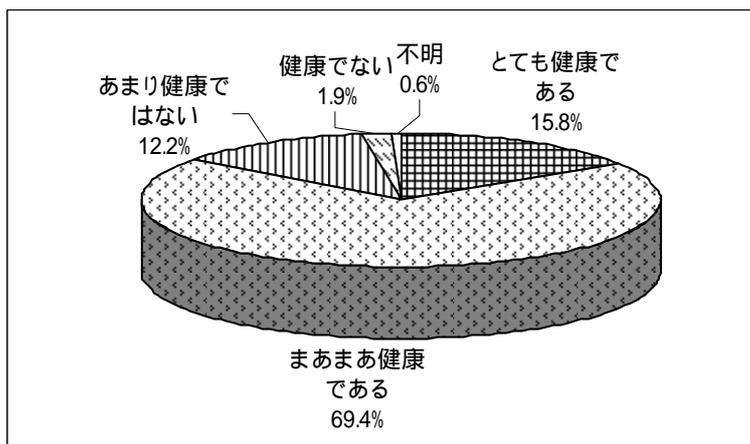
性別・年齢区分		合計	太りすぎ	太り気味	普通	やせ気味	やせすぎ	不明
青年期女性	合計	132	11	39	65	13	1	3
		100.0	8.3	29.5	49.2	9.8	0.8	2.3
	18.5未満(低体重)	30	-	1	17	11	1	-
		100.0	-	3.3	56.7	36.7	3.3	-
	18.5以上25未満(普通)	90	7	35	45	2	-	1
		100.0	7.8	38.9	50.0	2.2	-	1.1
	25以上30未満(太り気味)	4	4	-	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-	-
	30以上(肥満)	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
	不明	8	-	3	3	-	-	2
		100.0	-	37.5	37.5	-	-	25.0

(7) 健康状態

健康状態については、「とても健康である」、「まあまあ健康である」と良好な健康状態であるとする人が85.2%と多数を占めており、一方、「あまり健康でない」、「健康でない」とする人は14.1%となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、大きな違いはみられないものの、青年期は「とても健康である」が30%を超えています。壮年期、中年期では、大半が「まあまあ健康である」としています。

図表 176 自身の健康状態をどう思うか [N=988]



図表 177 青年・壮年・中年期 × 自身の健康状態をどう思うか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

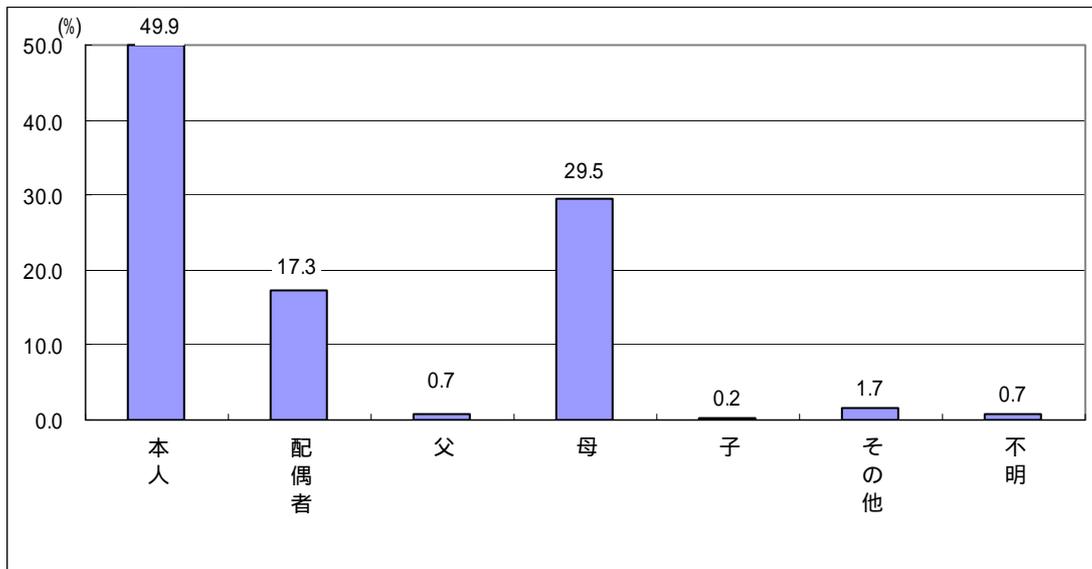
	合計	とても健康である	まあまあ健康である	あまり健康ではない	健康でない	不明
合計	988	156	686	121	19	6
	100.0	15.8	69.4	12.2	1.9	0.6
青年期	219	67	117	31	4	-
	100.0	30.6	53.4	14.2	1.8	-
壮年期	300	39	222	34	4	1
	100.0	13.0	74.0	11.3	1.3	0.3
中年期	431	41	327	52	11	-
	100.0	9.5	75.9	12.1	2.6	-
不明	38	9	20	4	-	5
	100.0	23.7	52.6	10.5	-	13.2

(8) 主に家庭で食事づくりを担当する人

主に家庭で食事づくりを担当する人についてきいたところ、「本人」が49.9%と最も多く、次いで、「母」が29.5%となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期は大半が「母」であるのに対し、壮年期、中年期では「本人」が多くなっています。

図表 178 主に家庭で食事づくりを担当する人 [N=988]



図表 179 青年・壮年・中年期 × 主に家庭で食事づくりを担当する人 [N=988]

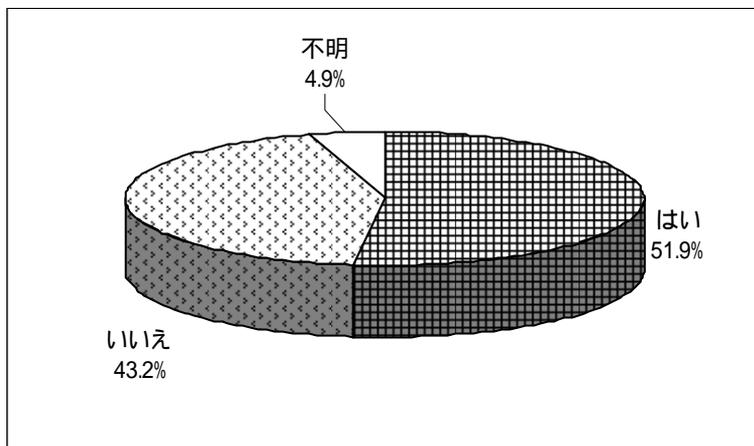
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	本人	配偶者	父	母	子	その他	不明
合計	988	493	171	7	291	2	17	7
	100.0	49.9	17.3	0.7	29.5	0.2	1.7	0.7
青年期	219	16	2	1	194	-	5	1
	100.0	7.3	0.9	0.5	88.6	-	2.3	0.5
壮年期	300	181	49	4	60	-	5	1
	100.0	60.3	16.3	1.3	20.0	-	1.7	0.3
中年期	431	285	115	1	22	2	6	-
	100.0	66.1	26.7	0.2	5.1	0.5	1.4	-
不明	38	11	5	1	15	-	1	5
	100.0	28.9	13.2	2.6	39.5	-	2.6	13.2

(9) 主に食事づくりを担当する人の就労状況

主に食事づくりを担当する人の就労状況については、就労している割合(「はい」という回答)が51.9%と多くなっています。

図表 180 主に食事づくりを担当する人の就労状況 [N=988]



図表 181 青年・壮年・中年期×主に食事づくりを担当する人の就労状況 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	はい	いいえ	不明
合計	988	513	427	48
	100.0	51.9	43.2	4.9
青年期	219	128	73	18
	100.0	58.4	33.3	8.2
壮年期	300	147	141	12
	100.0	49.0	47.0	4.0
中年期	431	219	202	10
	100.0	50.8	46.9	2.3
不明	38	19	11	8
	100.0	50.0	28.9	21.1

(10) 主に食事づくりを担当する人の就労形態

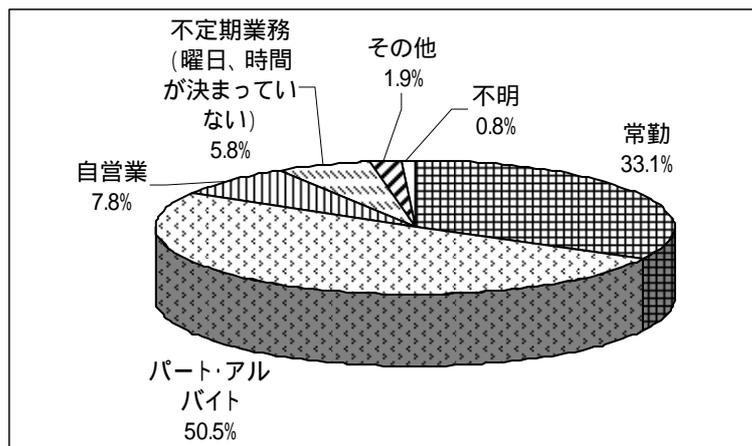
主に食事づくりを担当する人のうち、就労している場合の就労形態についてきいたところ、「パート・アルバイト」が50.5%、「常勤」が33.1%、「自営業」が7.8%となっています。青年・壮年・中年期別にみると、青年期、中年期では半数以上が「パート・アルバイト」であるのに対し、壮年期では「常勤」と「パート・アルバイト」がほぼ同割合となっています。

また、「常勤」で働く人の1日あたり勤務時間については、「8時間以上10時間未満」が71.2%と最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」が15.9%となっています。

「パート・アルバイト」で働く人の1週間あたり勤務日数については、「5日以上」が46.3%、「3、4日」が44.0%となっています。「パート・アルバイト」で働く人の1日あたり勤務時間は、「4時間以上6時間未満」と「6時間以上8時間未満」がそれぞれ30%程度と多くなっています。

一方、「自営業」で働く人の1日あたり勤務時間は「8時間以上」が6割弱と多くなっています。

図表 182 主に食事づくりを担当する人の就労形態 [N=513]

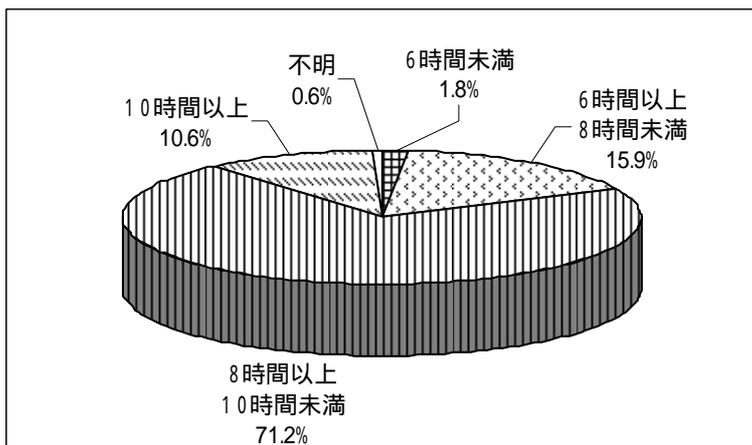


図表 183 青年・壮年・中年期×主に食事づくりを担当する人の就労形態 [N=513]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	常勤	パート・アルバイト	自営業	不定期業務(曜日、時間が決まっていない)	その他	不明
合計	513	170	259	40	30	10	4
	100.0	33.1	50.5	7.8	5.8	1.9	0.8
青年期	128	33	77	4	11	2	1
	100.0	25.8	60.2	3.1	8.6	1.6	0.8
壮年期	147	66	60	7	10	4	-
	100.0	44.9	40.8	4.8	6.8	2.7	-
中年期	219	66	114	26	8	3	2
	100.0	30.1	52.1	11.9	3.7	1.4	0.9
不明	19	5	8	3	1	1	1
	100.0	26.3	42.1	15.8	5.3	5.3	5.3

図表 184 常勤で働く人の1日あたり勤務時間 [N=170]

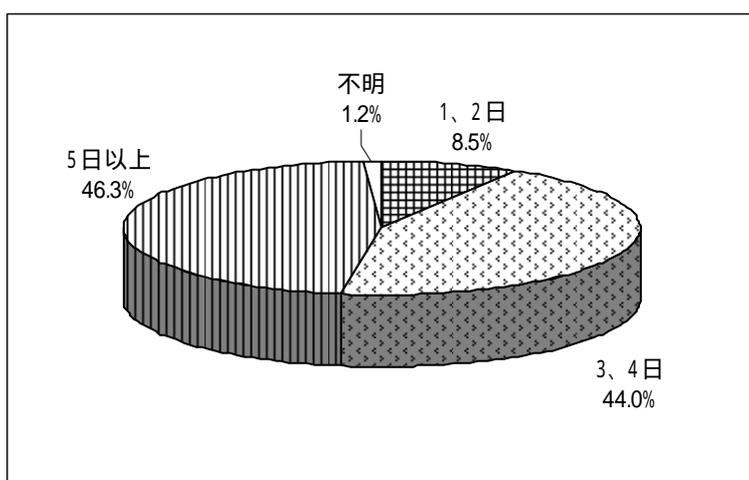


図表 185 青年・壮年・中年期×常勤で働く人の1日あたり勤務時間 [N=170]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	6時間未満	6時間以上 8時間未満	8時間以上 10時間未満	10時間以上	不明
合計	170	3	27	121	18	1
	100.0	1.8	15.9	71.2	10.6	0.6
青年期	33	1	5	22	5	-
	100.0	3.0	15.2	66.7	15.2	-
壮年期	66	-	8	49	9	-
	100.0	-	12.1	74.2	13.6	-
中年期	66	2	13	46	4	1
	100.0	3.0	19.7	69.7	6.1	1.5
不明	5	-	1	4	-	-
	100.0	-	20.0	80.0	-	-

図表 186 パート・アルバイトで働く人の1週あたり勤務日数 [N=259]



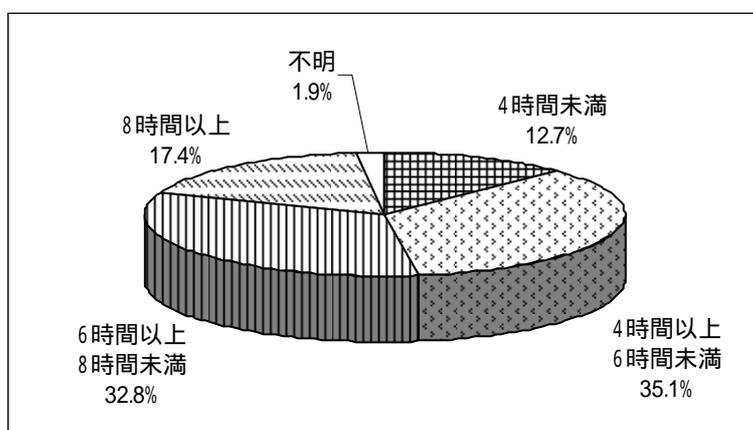
第5章 青年・壮年・中年期

図表 187 青年・壮年・中年期×パート・アルバイトで働く人の1週あたり勤務日数 [N=259]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	1、2日	3、4日	5日以上	不明
合計	259	22	114	120	3
	100.0	8.5	44.0	46.3	1.2
青年期	77	4	23	50	-
	100.0	5.2	29.9	64.9	-
壮年期	60	9	30	20	1
	100.0	15.0	50.0	33.3	1.7
中年期	114	9	58	46	1
	100.0	7.9	50.9	40.4	0.9
不明	8	-	3	4	1
	100.0	-	37.5	50.0	12.5

図表 188 パート・アルバイトで働く人の1日あたり勤務時間 [N=259]

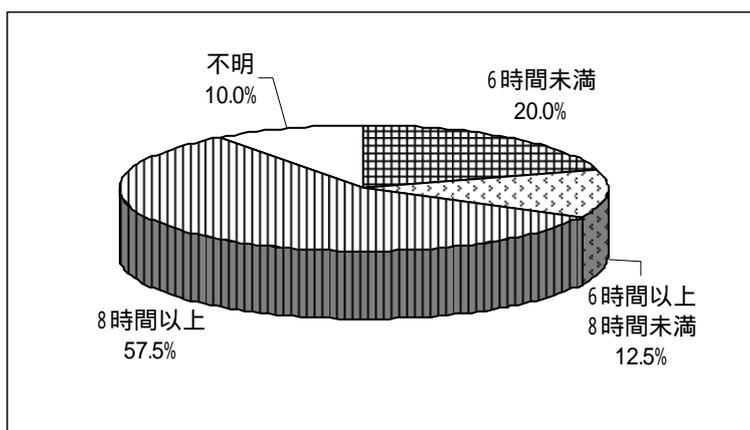


図表 189 青年・壮年・中年期×パート・アルバイトで働く人の1日あたり勤務時間 [N=259]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	4時間未満	4時間以上6時間未満	6時間以上8時間未満	8時間以上	不明
合計	259	33	91	85	45	5
	100.0	12.7	35.1	32.8	17.4	1.9
青年期	77	5	26	29	16	1
	100.0	6.5	33.8	37.7	20.8	1.3
壮年期	60	6	26	18	9	1
	100.0	10.0	43.3	30.0	15.0	1.7
中年期	114	21	35	36	20	2
	100.0	18.4	30.7	31.6	17.5	1.8
不明	8	1	4	2	-	1
	100.0	12.5	50.0	25.0	-	12.5

図表 190 自営業で働く人の1日あたり勤務時間 [N=40]



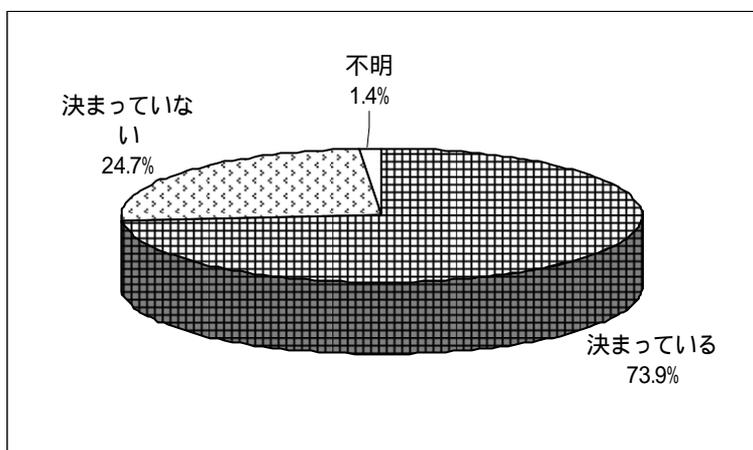
2. 生活リズムについて

(1) 起床時間と就寝時間

生活リズムについて、起床時間・就寝時間が「決まっている」という回答が73.9%と圧倒的に多くなっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年・壮年・中年期ともに半数以上が「決まっている」としているものの、青年期では「決まっている」割合が他に比べてやや低くなっています。

図表 191 起床時間と就寝時間 [N=988]



図表 192 青年・壮年・中年期 × 起床時間と就寝時間 [N=988]

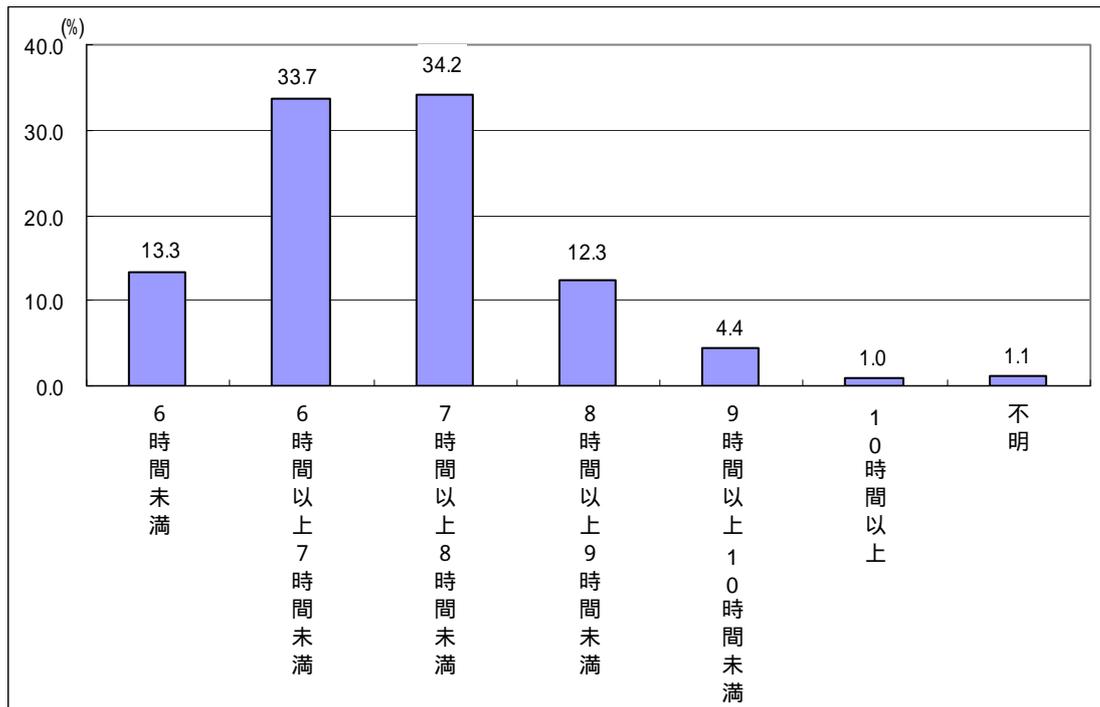
[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	決まっている	決まっていない	不明
合計	988	730	244	14
	100.0	73.9	24.7	1.4
青年期	219	130	89	-
	100.0	59.4	40.6	-
壮年期	300	230	66	4
	100.0	76.7	22.0	1.3
中年期	431	344	83	4
	100.0	79.8	19.3	0.9
不明	38	26	6	6
	100.0	68.4	15.8	15.8

(2) 睡眠時間

睡眠時間についてみると、「7時間以上8時間未満」が最も多く、34.2%、次いで、「6時間以上7時間未満」が33.7%と続いています。

図表 193 睡眠時間 [N=730]



図表 194 青年・壮年・中年期 × 睡眠時間 [N=730]

[単位:(上段)件/(下段)%]

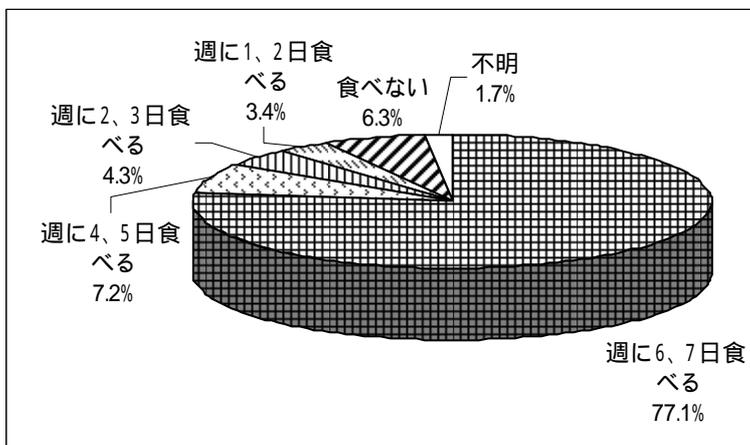
	合計	6時間未満	6時間以上7時間未満	7時間以上8時間未満	8時間以上9時間未満	9時間以上10時間未満	10時間以上	不明
合計	730	97	246	250	90	32	7	8
	100.0	13.3	33.7	34.2	12.3	4.4	1.0	1.1
青年期	130	17	42	50	13	4	3	1
	100.0	13.1	32.3	38.5	10.0	3.1	2.3	0.8
壮年期	230	31	74	77	31	12	2	3
	100.0	13.5	32.2	33.5	13.5	5.2	0.9	1.3
中年期	344	49	124	113	39	13	2	4
	100.0	14.2	36.0	32.8	11.3	3.8	0.6	1.2
不明	26	-	6	10	7	3	-	-
	100.0	-	23.1	38.5	26.9	11.5	-	-

(3) 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況について、「週に6、7日食べる」という回答が77.1%と多くなっています。一方、「食べない」という回答も6.3%あります。

性別、青年・壮年・中年期別にみると、男性は全体的に「食べない」人が女性に比べて多く、特に壮年期男性が多くなっています。

図表 195 朝食の摂取状況 [N=988]



図表 196 性×青年・壮年・中年期×朝食の摂取状況 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

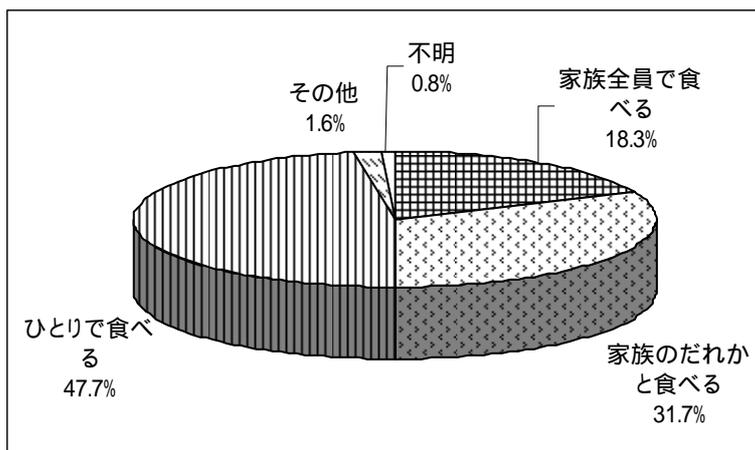
性別	年齢区分	合計	週に6、7日食べる	週に4、5日食べる	週に2、3日食べる	週に1、2日食べる	食べない	不明	
	合計	988	762	71	42	34	62	17	
		100.0	77.1	7.2	4.3	3.4	6.3	1.7	
男性	合計	344	232	33	24	17	34	4	
		100.0	67.4	9.6	7.0	4.9	9.9	1.2	
	青年期	87	59	9	5	7	6	1	
		100.0	67.8	10.3	5.7	8.0	6.9	1.1	
	壮年期	78	43	11	5	5	13	1	
		100.0	55.1	14.1	6.4	6.4	16.7	1.3	
	中年期	163	116	12	13	5	15	2	
		100.0	71.2	7.4	8.0	3.1	9.2	1.2	
	不明	16	14	1	1	-	-	-	
		100.0	87.5	6.3	6.3	-	-	-	
	女性	合計	634	525	37	18	17	28	9
			100.0	82.8	5.8	2.8	2.7	4.4	1.4
青年期		132	101	13	7	6	5	-	
		100.0	76.5	9.8	5.3	4.5	3.8	-	
壮年期		220	180	15	5	3	14	3	
		100.0	81.8	6.8	2.3	1.4	6.4	1.4	
中年期		265	227	9	6	8	9	6	
		100.0	85.7	3.4	2.3	3.0	3.4	2.3	
不明		17	17	-	-	-	-	-	
		100.0	100.0	-	-	-	-	-	
不明		10	5	1	-	-	-	4	
		100.0	50.0	10.0	-	-	-	40.0	

(4) 一緒に朝食を食べる人

一緒に朝食を食べる人については、「ひとりで食べる」が47.7%と最も多くなっています。家族年齢別にみると、30歳代以上で、「家族全員で食べる」という回答の割合が多くなっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期の半数は「ひとりで食べる」としています。壮年期、中年期も「ひとりで食べる」人が43~49%と最も多くなっていますが、「家族全員で食べる」人も約22%程度います。

図表 197 一緒に朝食を食べる人 [N=875]



図表 198 青年・壮年・中年期 × 一緒に朝食を食べる人 [N=875]

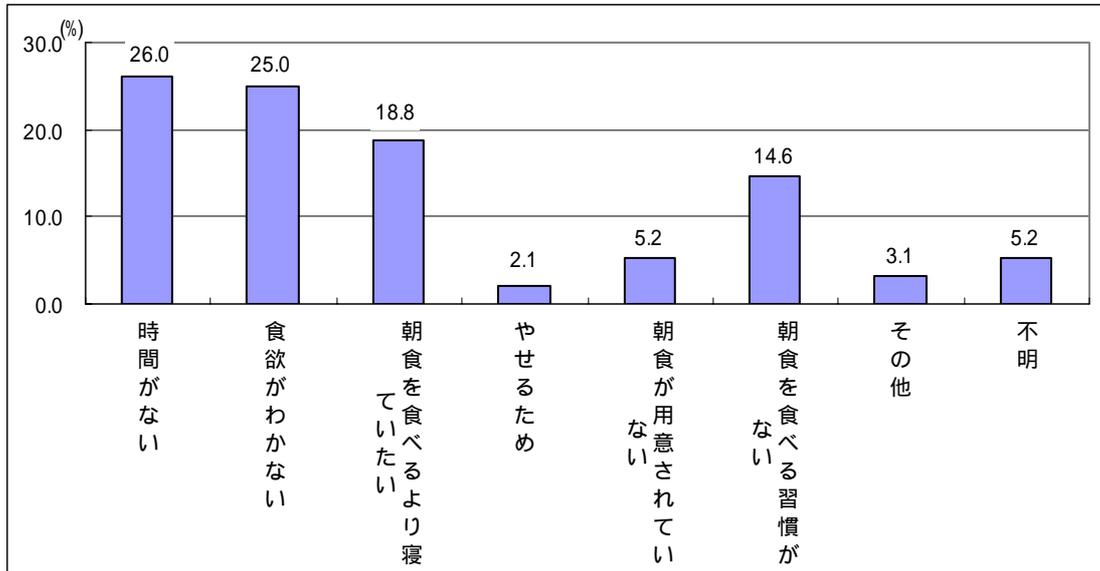
[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	家族全員で食べる	家族のだれかと食べる	ひとりで食べる	その他	不明
合計	875	160	277	417	14	7
	100.0	18.3	31.7	47.7	1.6	0.8
青年期	194	13	72	103	5	1
	100.0	6.7	37.1	53.1	2.6	0.5
壮年期	261	56	88	113	3	1
	100.0	21.5	33.7	43.3	1.1	0.4
中年期	386	85	102	188	6	5
	100.0	22.0	26.4	48.7	1.6	1.3
不明	34	6	15	13	-	-
	100.0	17.6	44.1	38.2	-	-

(5) 朝食を食べない理由

朝食を食べない理由については、「時間がない」が26.0%と最も多く、次いで、「食欲がわからない」が25.0%、「朝食を食べるより寝ていたい」が18.8%と続いています。

図表 199 朝食を食べない理由 [N=96]

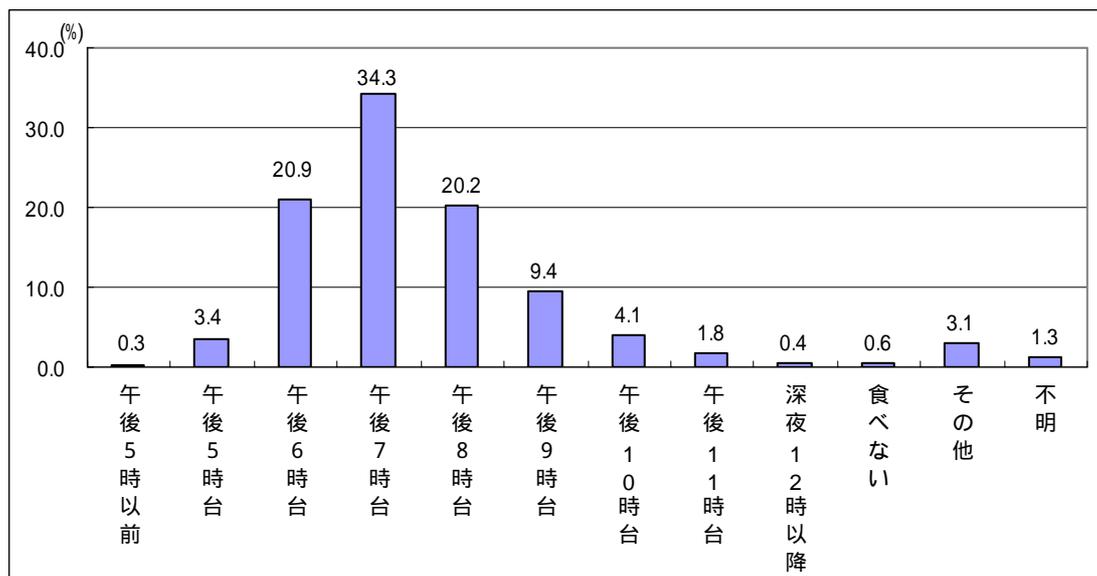


(6) 夕食時間

夕食の時間については、「午後7時台」が34.3%で最も多くなっています。

青年・壮年・中年期別にみると、どの世代も午後7時台が最も多くなっていますが、それ以外では青年期は午後8時台が、壮年期、中年期は午後6時台、午後8時台が多くなっています。

図表 200 夕食時間 [N=988]



図表 201 青年・壮年・中年期×夕食時間 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

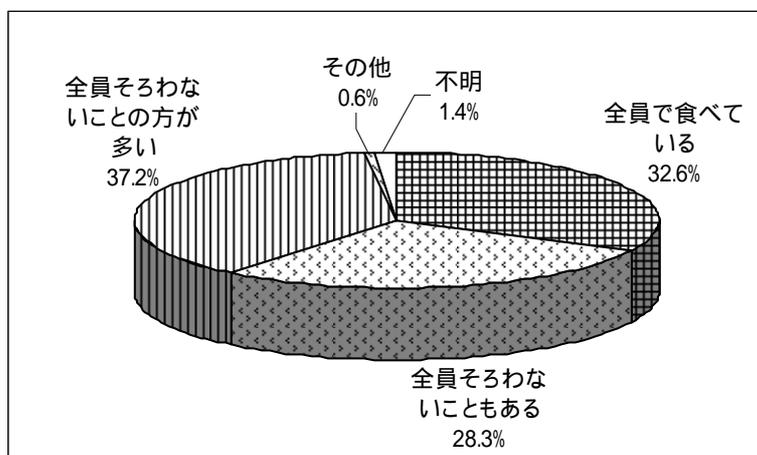
	合計	午後5時以前	午後5時台	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	深夜12時以降	食べない	その他
合計	988	3	34	206	339	200	93	41	18	4	6	31
	100.0	0.3	3.4	20.9	34.3	20.2	9.4	4.1	1.8	0.4	0.6	3.1
青年期	219	-	5	31	77	56	19	15	3	2	1	9
	100.0	-	2.3	14.2	35.2	25.6	8.7	6.8	1.4	0.9	0.5	4.1
壮年期	300	-	13	63	88	54	33	16	11	2	3	13
	100.0	-	4.3	21.0	29.3	18.0	11.0	5.3	3.7	0.7	1.0	4.3
中年期	431	3	15	104	160	81	40	9	4	-	2	9
	100.0	0.7	3.5	24.1	37.1	18.8	9.3	2.1	0.9	-	0.5	2.1
不明	38	-	1	8	14	9	1	1	-	-	-	-
	100.0	-	2.6	21.1	36.8	23.7	2.6	2.6	-	-	-	-

(7) 夕食時の状況

夕食時の「孤食」の状況について、夕食時に、家にいる人が「全員そろわないことの方が多い」が37.2%と最も多く、次いで、「全員で食べている」が32.6%と続いています。

青年・壮年・中年期別にみると、壮年期、中年期では「全員で食べている」人が約35~39%いるのに対し、青年期では約20%にとどまっています。一方で青年期は「全員そろわないことの方が多い」が半数弱となっています。

図表 202 夕食時に、家にいる人全員で食べているか [N=884]



図表 203 青年・壮年・中年期×夕食時に、家族全員で食べているか [N=884]

[単位:(上段)件/(下段)%]

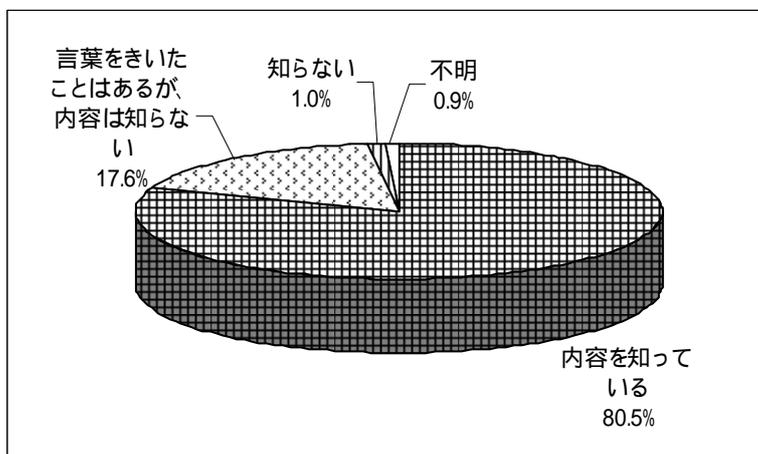
	合計	全員で食べている	全員そろわないこともある	全員そろわないことの方が多い	その他	不明
合計	884	288	250	329	5	12
	100.0	32.6	28.3	37.2	0.6	1.4
青年期	212	42	69	99	-	2
	100.0	19.8	32.5	46.7	-	0.9
壮年期	275	95	71	104	1	4
	100.0	34.5	25.8	37.8	0.4	1.5
中年期	367	143	99	118	2	5
	100.0	39.0	27.0	32.2	0.5	1.4
不明	30	8	11	8	2	1
	100.0	26.7	36.7	26.7	6.7	3.3

(8) 「メタボリックシンドローム」の認知度

「メタボリックシンドローム」の認知度については、「内容を知っている」という回答が80.5%と最も多くなっています。

青年・壮年・中年期別にみると、大きな違いはみられないものの、年齢が高いほど「内容を知っている」人が多くなっています。

図表 204 「メタボリックシンドローム」の認知度 [N=988]



図表 205 青年・壮年・中年期×「メタボリックシンドローム」の認知度 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	内容を知っている	言葉をきいたことはあるが、内容は知らない	知らない	不明
合計	988	795	174	10	9
	100.0	80.5	17.6	1.0	0.9
青年期	219	160	55	3	1
	100.0	73.1	25.1	1.4	0.5
壮年期	300	235	61	2	2
	100.0	78.3	20.3	0.7	0.7
中年期	431	376	50	3	2
	100.0	87.2	11.6	0.7	0.5
不明	38	24	8	2	4
	100.0	63.2	21.1	5.3	10.5

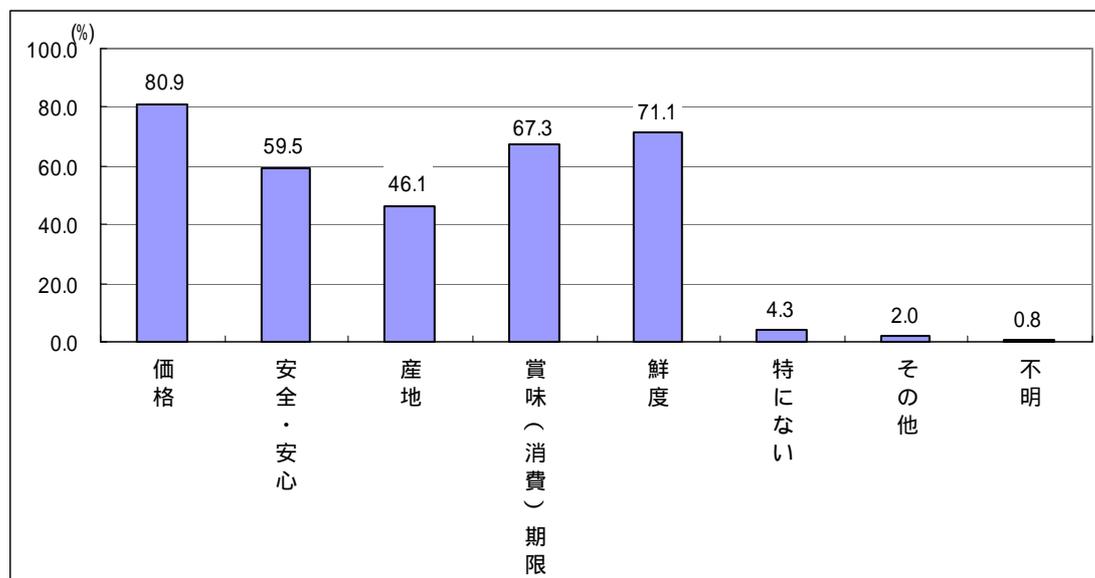
3. 食事について

(1) 食材選定基準

食材の選定基準についてきいたところ、「価格」が80.9%と最も多く、「鮮度」、「賞味(消費)期限」がそれぞれ約70%で続いています。

青年・壮年・中年期別にみると、大きな違いはみられないものの、壮年期、中年期では青年期よりも全体的に気にしていることが見受けられます。

図表 206 食材選定基準 [N=988] (複数回答)



図表 207 青年・壮年・中年期 × 食材選定基準 [N=988] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

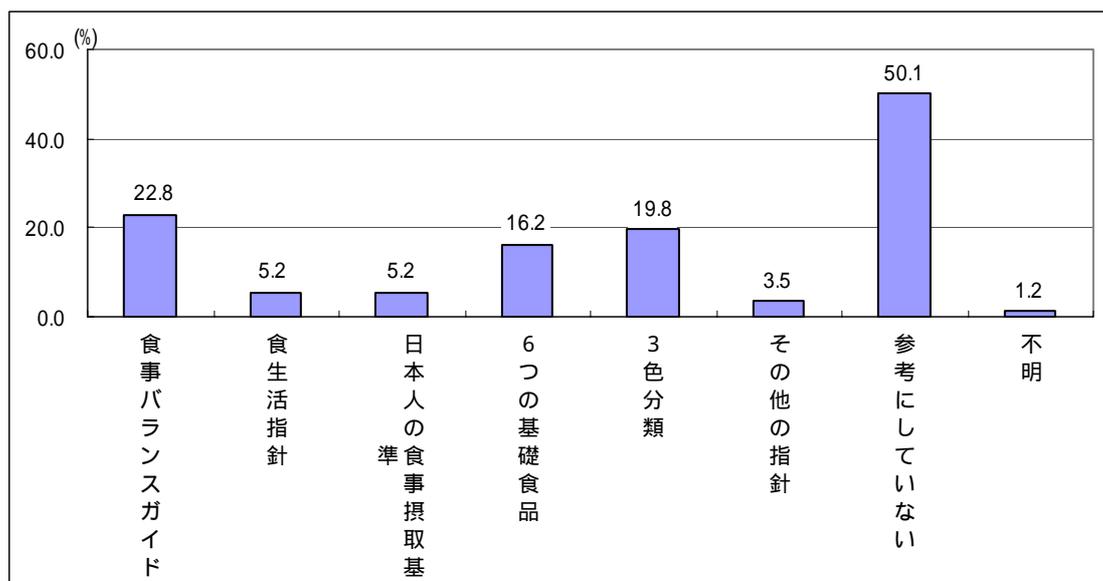
	合計	価格	安全・安心	産地	賞味(消費)期限	鮮度	特にない	その他	不明
合計	988	799	588	455	665	702	42	20	8
	100.0	80.9	59.5	46.1	67.3	71.1	4.3	2.0	0.8
青年期	219	168	99	65	128	114	16	2	2
	100.0	76.7	45.2	29.7	58.4	52.1	7.3	0.9	0.9
壮年期	300	261	189	163	208	228	8	8	-
	100.0	87.0	63.0	54.3	69.3	76.0	2.7	2.7	-
中年期	431	344	277	213	310	344	16	9	2
	100.0	79.8	64.3	49.4	71.9	79.8	3.7	2.1	0.5
不明	38	26	23	14	19	16	2	1	4
	100.0	68.4	60.5	36.8	50.0	42.1	5.3	2.6	10.5

(2) 参考とする指針

日頃の健全な食生活を実践するために参考とする指針については、何らかの指針を参考にしている人は48.7%となっており、そのうち「食事バランスガイド」が22.8%と最も多く、次いで「3色分類」が19.8%、「6つの基礎食品」が16.2%となっています。一方、「参考にしていない」人は50.1%とほぼ半数となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期、壮年期の半数以上が「参考にしていない」としてはいますが、中年期では、半数以上が何らかの指針を参考にしており、中でも「食事バランスガイド」、「3色分類」、「6つの基礎食品」を参考にしている人が多くなっています

図表 208 参考とする指針 [N=988] (複数回答)



図表 209 青年・壮年・中年期×参考とする指針 [N=988] (複数回答)

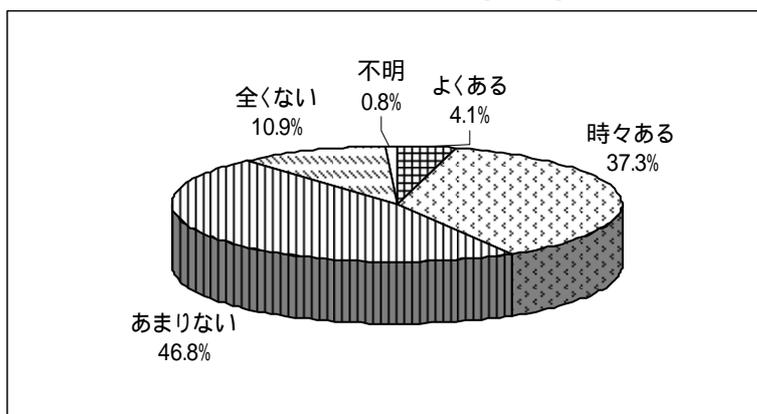
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	ド ン 食 事 ス ガ イ バラ	針 食 生 活 指	基 準 食 事 撰 取	日 本 人 の	礎 食 品	6 つ の 基	3 色 分 類	指 針 そ の 他 の	参 考 に し て い な い	不 明
合計	988	225	51	51	160	196	35	495	12		
	100.0	22.8	5.2	5.2	16.2	19.8	3.5	50.1	1.2		
青年期	219	34	5	13	23	36	8	138	1		
	100.0	15.5	2.3	5.9	10.5	16.4	3.7	63.0	0.5		
壮年期	300	51	14	9	41	58	13	158	2		
	100.0	17.0	4.7	3.0	13.7	19.3	4.3	52.7	0.7		
中年期	431	127	31	26	93	95	12	187	4		
	100.0	29.5	7.2	6.0	21.6	22.0	2.8	43.4	0.9		
不明	38	13	1	3	3	7	2	12	5		
	100.0	34.2	2.6	7.9	7.9	18.4	5.3	31.6	13.2		

(3) 直接廃棄頻度

食べ物を直接廃棄する頻度については、「よくある」、「時々ある」と直接廃棄の頻度が高い人が41.4%、「あまりない」、「全くない」と頻度が低い人が57.7%となっています。

図表 210 直接廃棄頻度 [N=988]



図表 211 青年・壮年・中年期×直接廃棄頻度 [N=988]

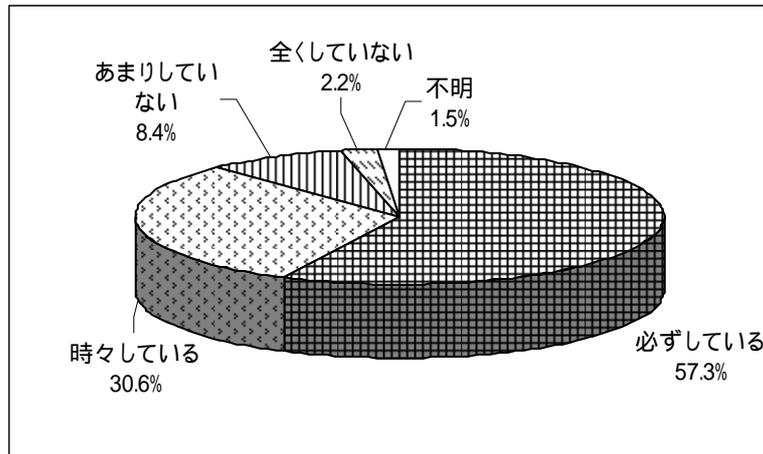
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	よくある	時々ある	あ ま り な い	全 く な い	不 明
合計	988	41	369	462	108	8
	100.0	4.1	37.3	46.8	10.9	0.8
青年期	219	6	76	102	33	2
	100.0	2.7	34.7	46.6	15.1	0.9
壮年期	300	14	122	137	27	-
	100.0	4.7	40.7	45.7	9.0	-
中年期	431	21	159	206	44	1
	100.0	4.9	36.9	47.8	10.2	0.2
不明	38	-	12	17	4	5
	100.0	-	31.6	44.7	10.5	13.2

(4) 食べ残しを減らす努力

食べ残しを減らす努力についてきいたところ、「必ずしている」が57.3%と最も多く、「時々している」が30.6%と、食べ残しを減らす努力をしている人が多い一方で、「あまりしていない」、「全くしていない」と、あまり努力をしていない傾向の人が10.6%います。

図表 212 食べ残しを減らす努力 [N=988]



図表 213 青年・壮年・中年期×食べ残しを減らす努力 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

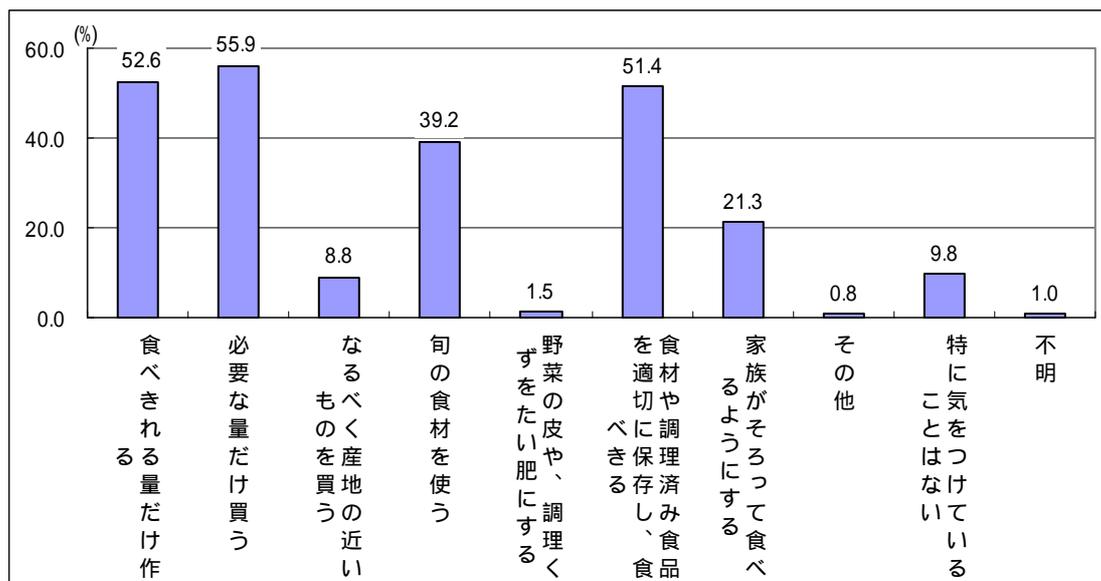
	合計	必ずしている	時々している	あまりしていない	全くしていない	不明
合計	988	566	302	83	22	15
	100.0	57.3	30.6	8.4	2.2	1.5
青年期	219	129	61	18	7	4
	100.0	58.9	27.9	8.2	3.2	1.8
壮年期	300	178	82	28	9	3
	100.0	59.3	27.3	9.3	3.0	1.0
中年期	431	239	150	33	6	3
	100.0	55.5	34.8	7.7	1.4	0.7

(5) 環境への配慮

食生活で環境に配慮していることについてきいたところ、「必要な量だけ買う」という回答が55.9%と最も多く、次いで、「食べきれる量だけ作る」が52.6%、「食材や調理済み食品を適切に保存し、食べきる」が51.4%と続いています。

青年・壮年・中年期別にみると、全体的に壮年期、中年期では、様々なことに気をつけている人が多い一方で、青年期は他に比べて「特に気をつけていることはない」人がやや多くなっています。

図表 214 環境への配慮 [N=988] (複数回答)



図表 215 青年・壮年・中年期 × 環境への配慮 [N=988] (複数回答)

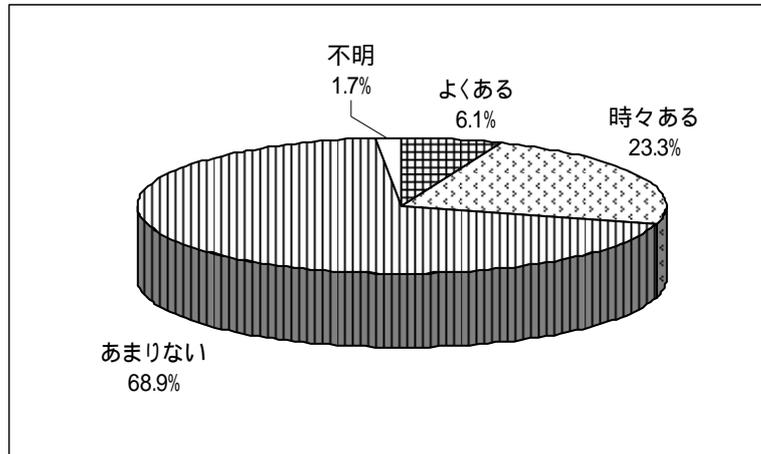
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	食べきれる量だけ作る	必要な量だけ買う	なるべく産地の近いものを買う	旬の食材を使う	野菜の皮や、調理くずをたい肥にする	食材や調理済み食品を適切に保存し、食べきる	家族がそろって食べるようにする	その他	特に気をつけていることはない	不明
合計	988	520	552	87	387	15	508	210	8	97	10
	100.0	52.6	55.9	8.8	39.2	1.5	51.4	21.3	0.8	9.8	1.0
青年期	219	92	106	5	51	1	82	31	-	48	3
	100.0	42.0	48.4	2.3	23.3	0.5	37.4	14.2	-	21.9	1.4
壮年期	300	166	183	21	117	3	167	70	3	18	1
	100.0	55.3	61.0	7.0	39.0	1.0	55.7	23.3	1.0	6.0	0.3
中年期	431	247	249	56	206	9	244	102	4	25	2
	100.0	57.3	57.8	13.0	47.8	2.1	56.6	23.7	0.9	5.8	0.5
不明	38	15	14	5	13	2	15	7	1	6	4
	100.0	39.5	36.8	13.2	34.2	5.3	39.5	18.4	2.6	15.8	10.5

(6) 別メニューの食事

家庭と一緒に食事をする人が別メニューの食事をとることがあるかどうかきいたところ、「あまりない」という回答が最も多く 68.9%となっています。一方、「時々ある」という回答も 23.3%みられます。

図表 216 別メニューの食事を食べることがあるか [N=884]



図表 217 青年・壮年・中年期×別メニューの食事を食べることがあるか [N=884]

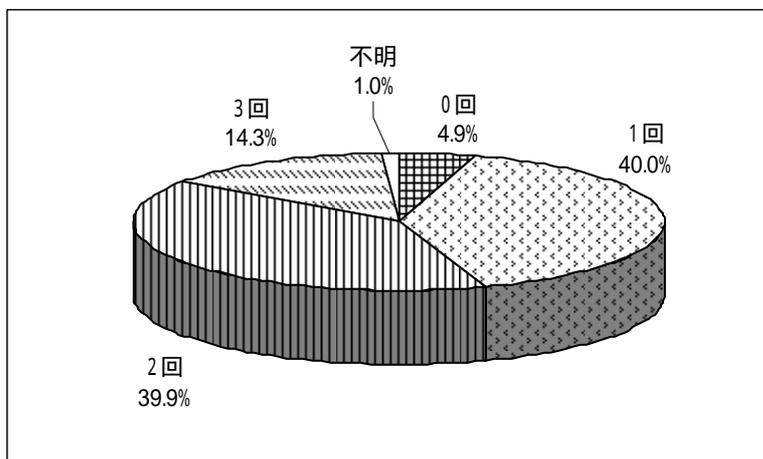
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	よくある	時々ある	あまりない	不明
合計	884	54	206	609	15
	100.0	6.1	23.3	68.9	1.7
青年期	212	13	48	150	1
	100.0	6.1	22.6	70.8	0.5
壮年期	275	14	76	182	3
	100.0	5.1	27.6	66.2	1.1
中年期	367	25	75	260	7
	100.0	6.8	20.4	70.8	1.9
不明	30	2	7	17	4
	100.0	6.7	23.3	56.7	13.3

(7) 主食・主菜・副菜がそろった食事

主食・主菜・副菜がそろった食事の1日あたりの頻度をきいたところ、「1回」、「2回」という回答がともに40%程度となっています

図表 218 主食・主菜・副菜がそろった食事の回数 [N=988]



図表 219 青年・壮年・中年期×主食・主菜・副菜がそろった食事の回数 [N=988]

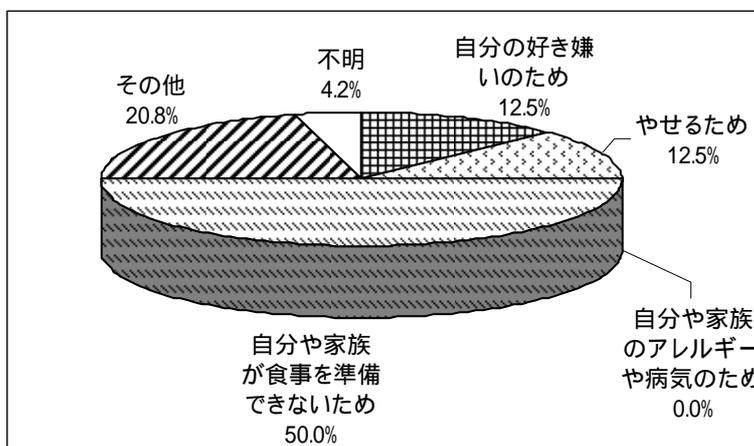
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	0回	1回	2回	3回	不明
合計	988	48	395	394	141	10
	100.0	4.9	40.0	39.9	14.3	1.0
青年期	219	16	85	83	34	1
	100.0	7.3	38.8	37.9	15.5	0.5
壮年期	300	16	133	116	35	-
	100.0	5.3	44.3	38.7	11.7	-
中年期	431	16	168	177	67	3
	100.0	3.7	39.0	41.1	15.5	0.7
不明	38	-	9	18	5	6
	100.0	-	23.7	47.4	13.2	15.8

(8) 主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由

主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由としては、「自分や家族が食事を準備できないため」という回答が50.0%と最も多くなっています。

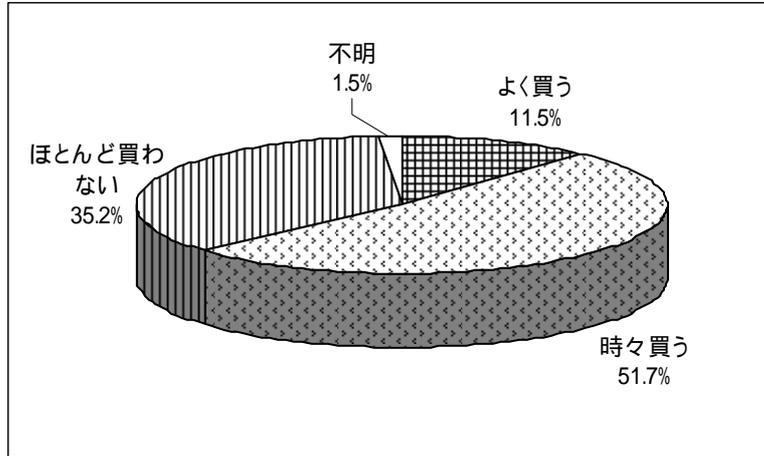
図表 220 主食・主菜・副菜がそろった食事を取らない理由 [N=48]



(9) 弁当や総菜の購入頻度

弁当や総菜を購入する頻度については、「時々買う」が51.7%と最も多く、「ほとんど買わない」が35.2%となっています。

図表 221 弁当や総菜の購入頻度 [N=988]



図表 222 青年・壮年・中年期 × 弁当や総菜の購入頻度 [N=988]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

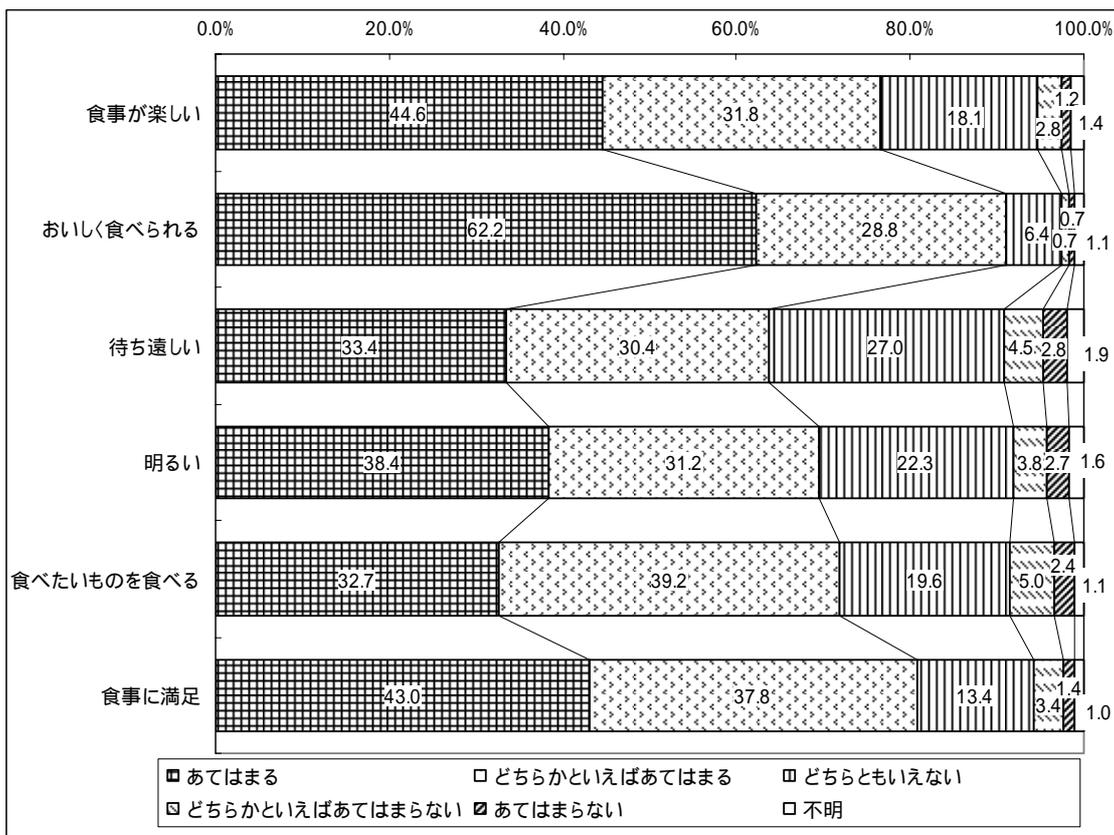
	合計	よく買う	時々買う	ほとんど買わない	不明
合計	988	114	511	348	15
	100.0	11.5	51.7	35.2	1.5
青年期	219	28	115	74	2
	100.0	12.8	52.5	33.8	0.9
壮年期	300	39	157	103	1
	100.0	13.0	52.3	34.3	0.3
中年期	431	45	229	151	6
	100.0	10.4	53.1	35.0	1.4
不明	38	2	10	20	6
	100.0	5.3	26.3	52.6	15.8

(10) 家庭での食生活の様子

家庭での食生活に関する項目では、どの項目も「あてはまる」・「どちらかといえあてはまる」を含めた回答の割合が60%以上を占めています。特に、「おいしく食べられる」については9割以上が「あてはまる」・「どちらかといえあてはまる」と回答しています。

青年・壮年・中年期別にみると、「食事が楽しい」、「食事の時間が待ち遠しい」、「日々の食事に満足している」については、年齢が若いほど「あてはまる」とする人が多くなっています。

図表 223 家庭での食生活の様子 [N=988]



図表 224 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【食事が楽しい】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え ば あ て ど ち ら か と	い え な い ど ち ら と も	は ま ら な い い え ば あ て ど ち ら か と	な い あ て は ま ら	不 明
合計	988	441	314	179	28	12	14
	100.0	44.6	31.8	18.1	2.8	1.2	1.4
青年期	219	109	55	45	8	2	-
	100.0	49.8	25.1	20.5	3.7	0.9	-
壮年期	300	139	101	50	5	4	1
	100.0	46.3	33.7	16.7	1.7	1.3	0.3
中年期	431	177	150	76	15	5	8
	100.0	41.1	34.8	17.6	3.5	1.2	1.9
不明	38	16	8	8	-	1	5
	100.0	42.1	21.1	21.1	-	2.6	13.2

図表 225 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【おいしく食べられる】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え ば あ て ど ち ら か と	い え な い ど ち ら と も	は ま ら な い い え ば あ て ど ち ら か と	な い あ て は ま ら	不 明
合計	988	615	285	63	7	7	11
	100.0	62.2	28.8	6.4	0.7	0.7	1.1
青年期	219	144	60	12	2	1	-
	100.0	65.8	27.4	5.5	0.9	0.5	-
壮年期	300	184	93	19	1	2	1
	100.0	61.3	31.0	6.3	0.3	0.7	0.3
中年期	431	265	125	28	4	3	6
	100.0	61.5	29.0	6.5	0.9	0.7	1.4
不明	38	22	7	4	-	1	4
	100.0	57.9	18.4	10.5	-	2.6	10.5

図表 226 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【待ち遠しい】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	どちらかとい えはあては まる	どちらとも いえない	どちらかとい えはあては まらない	あてはまら ない	不明
合計	988	330	300	267	44	28	19
	100.0	33.4	30.4	27.0	4.5	2.8	1.9
青年期	219	90	62	57	5	5	-
	100.0	41.1	28.3	26.0	2.3	2.3	-
壮年期	300	106	86	82	14	9	3
	100.0	35.3	28.7	27.3	4.7	3.0	1.0
中年期	431	116	144	123	25	13	10
	100.0	26.9	33.4	28.5	5.8	3.0	2.3
不明	38	18	8	5	-	1	6
	100.0	47.4	21.1	13.2	-	2.6	15.8

図表 227 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【食卓の雰囲気は明るい】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	どちらかとい えはあては まる	どちらとも いえない	どちらかとい えはあては まらない	あてはまら ない	不明
合計	988	379	308	220	38	27	16
	100.0	38.4	31.2	22.3	3.8	2.7	1.6
青年期	219	85	56	60	12	6	-
	100.0	38.8	25.6	27.4	5.5	2.7	-
壮年期	300	131	97	52	8	9	3
	100.0	43.7	32.3	17.3	2.7	3.0	1.0
中年期	431	148	146	100	18	10	9
	100.0	34.3	33.9	23.2	4.2	2.3	2.1
不明	38	15	9	8	-	2	4
	100.0	39.5	23.7	21.1	-	5.3	10.5

図表 228 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【食べたいものを食べている】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はいえ はまる どちらか あて	いえない どちらとも	はいえ はまらない どちらか あて	ない あては まら	不明
合計	988	323	387	194	49	24	11
	100.0	32.7	39.2	19.6	5.0	2.4	1.1
青年期	219	66	84	51	10	8	-
	100.0	30.1	38.4	23.3	4.6	3.7	-
壮年期	300	102	134	43	14	6	1
	100.0	34.0	44.7	14.3	4.7	2.0	0.3
中年期	431	145	159	92	21	8	6
	100.0	33.6	36.9	21.3	4.9	1.9	1.4
不明	38	10	10	8	4	2	4
	100.0	26.3	26.3	21.1	10.5	5.3	10.5

図表 229 青年・壮年・中年期×家庭での食生活の様子 [N=988]

【日々の食事に満足している】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はいえ はまる どちらか あて	いえない どちらとも	はいえ はまらない どちらか あて	ない あては まら	不明
合計	988	425	373	132	34	14	10
	100.0	43.0	37.8	13.4	3.4	1.4	1.0
青年期	219	104	76	29	5	5	-
	100.0	47.5	34.7	13.2	2.3	2.3	-
壮年期	300	126	107	46	15	5	1
	100.0	42.0	35.7	15.3	5.0	1.7	0.3
中年期	431	176	181	53	13	3	5
	100.0	40.8	42.0	12.3	3.0	0.7	1.2
不明	38	19	9	4	1	1	4
	100.0	50.0	23.7	10.5	2.6	2.6	10.5

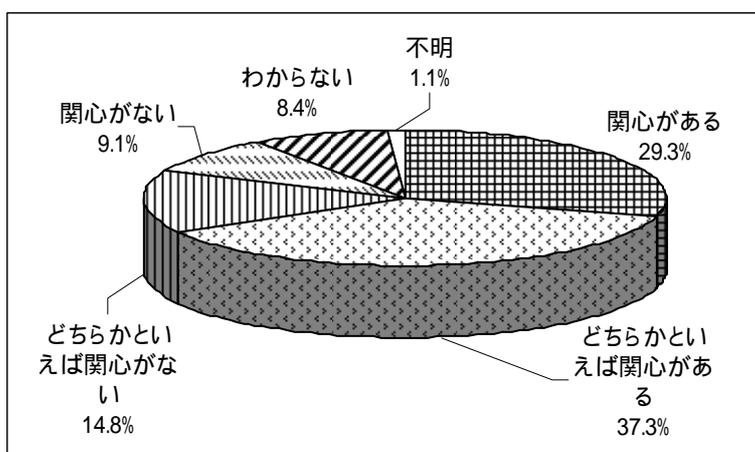
4. 食育について

(1) 「食育」への関心

「食育」への関心については、「関心がある」が29.3%、「どちらかといえば関心がある」が37.3%と関心がある傾向の人が66.6%と半数以上となっており、「どちらかといえば関心がない」が14.8%、「関心がない」が9.1%と関心がない傾向の人が23.9%となっています。

青年・壮年・中年期別では、壮年期、中年期は関心がある傾向の人は70%程度となっているのに対し青年期は半数にとどまっており、関心がない傾向の人が約35%と他に比べて多くなっています。

図表 230 「食育」に関心があるか [N=988]



図表 231 青年・壮年・中年期×「食育」に関心があるか [N=988]

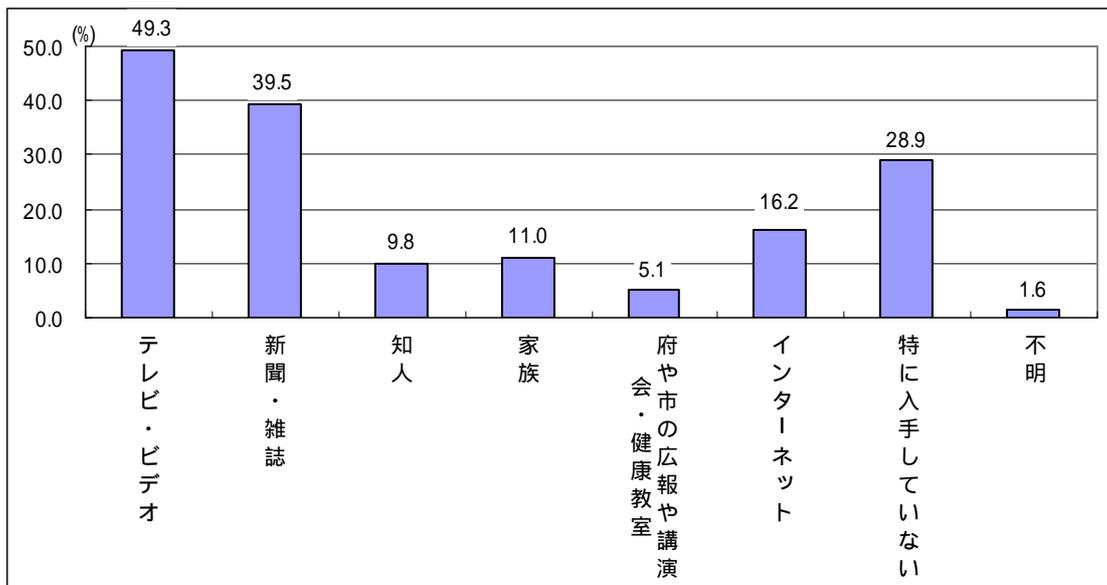
[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえば関心がない	関心がない	わからない	不明
合計	988	289	369	146	90	83	11
	100.0	29.3	37.3	14.8	9.1	8.4	1.1
青年期	219	48	65	37	40	27	2
	100.0	21.9	29.7	16.9	18.3	12.3	0.9
壮年期	300	110	109	43	18	20	-
	100.0	36.7	36.3	14.3	6.0	6.7	-
中年期	431	119	187	64	24	32	5
	100.0	27.6	43.4	14.8	5.6	7.4	1.2
不明	38	12	8	2	8	4	4
	100.0	31.6	21.1	5.3	21.1	10.5	10.5

(2) 食育に関する情報の入手先

食育に関する情報の入手先についてきいたところ、「テレビ・ビデオ」が49.3%と最も多く、次いで、「新聞・雑誌」が39.5%、「特に入手していない」が28.9%となっています。青年・壮年・中年期別にみると、青年期では、「特に入手していない」という割合が半数弱を占めているのに対し、壮年期、中年期の大半は何らかの手段で入手しています。

図表 232 食育に関する情報の入手先 [N=988] (複数回答)



図表 233 青年・壮年・中年期×食育に関する情報の入手先 [N=988] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

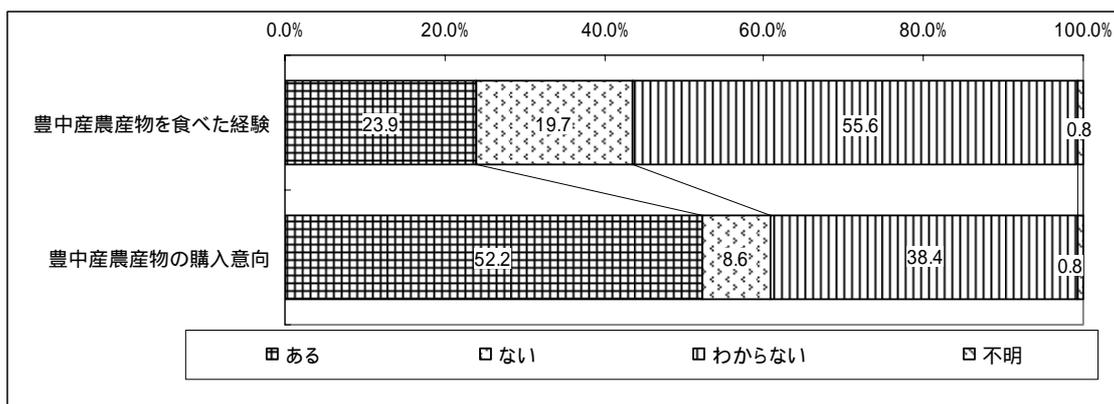
	合計	テレビ・ビデオ	新聞雑誌	知人	家族	府や市の広報や講演会・健康教室	インターネット	特に入手していない	不明
合計	988	487	390	97	109	50	160	286	16
	100.0	49.3	39.5	9.8	11.0	5.1	16.2	28.9	1.6
青年期	219	76	34	12	36	4	34	99	4
	100.0	34.7	15.5	5.5	16.4	1.8	15.5	45.2	1.8
壮年期	300	157	119	28	31	15	70	81	1
	100.0	52.3	39.7	9.3	10.3	5.0	23.3	27.0	0.3
中年期	431	238	227	54	37	27	52	98	6
	100.0	55.2	52.7	12.5	8.6	6.3	12.1	22.7	1.4
不明	38	16	10	3	5	4	4	8	5
	100.0	42.1	26.3	7.9	13.2	10.5	10.5	21.1	13.2

(3) 豊中産農産物について

豊中産の農産物を食べた経験や購入意向についてきいたところ、「食べた経験」が「ある」という回答が23.9%であるのに対し、「購入意向」が「ある」という回答は52.2%と、購入意向が高くなっています。

青年・壮年・中年期別にみると、年齢が高いほど「食べた経験」や「購入意向」が「ある」人が多くなっています。

図表 234 豊中産農産物について [N=988]



図表 235 青年・壮年・中年期×豊中産農産物について [N=988]

【豊中産農産物を食べた経験】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	ある	ない	わからない	不明
合計	988	236	195	549	8
	100.0	23.9	19.7	55.6	0.8
青年期	219	33	42	144	-
	100.0	15.1	19.2	65.8	-
壮年期	300	61	78	161	-
	100.0	20.3	26.0	53.7	-
中年期	431	127	72	228	4
	100.0	29.5	16.7	52.9	0.9
不明	38	15	3	16	4
	100.0	39.5	7.9	42.1	10.5

図表 236 青年・壮年・中年期×豊中産農産物について [N=988]

【豊中産農産物の購入意向】

[単位:(上段)件/(下段)%]

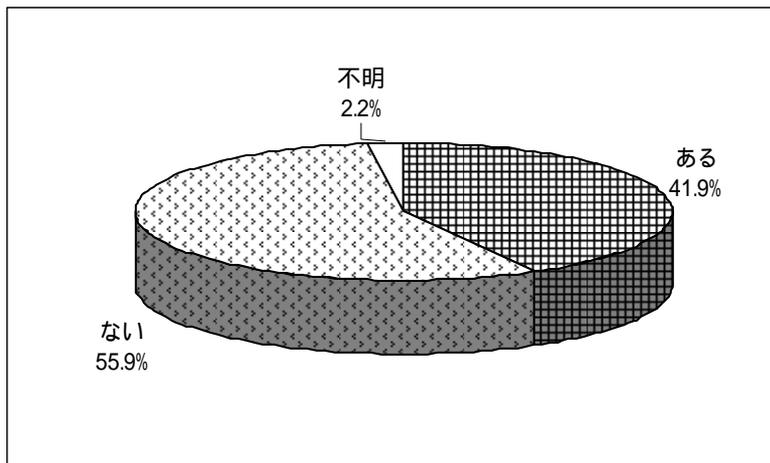
	合計	思う	思わない	わからない	不明
合計	988	516	85	379	8
	100.0	52.2	8.6	38.4	0.8
青年期	219	88	33	97	1
	100.0	40.2	15.1	44.3	0.5
壮年期	300	157	20	122	1
	100.0	52.3	6.7	40.7	0.3
中年期	431	253	28	148	2
	100.0	58.7	6.5	34.3	0.5
不明	38	18	4	12	4
	100.0	47.4	10.5	31.6	10.5

(4) 農体験への興味

農体験への興味については、「ない」が55.9%、「ある」が41.9%となっています。

「ある」という回答のうち、体験してみたい農体験としては、「収穫作業の体験」が78.5%と最も多くなっています。

図表 237 農体験への興味 [N=988]

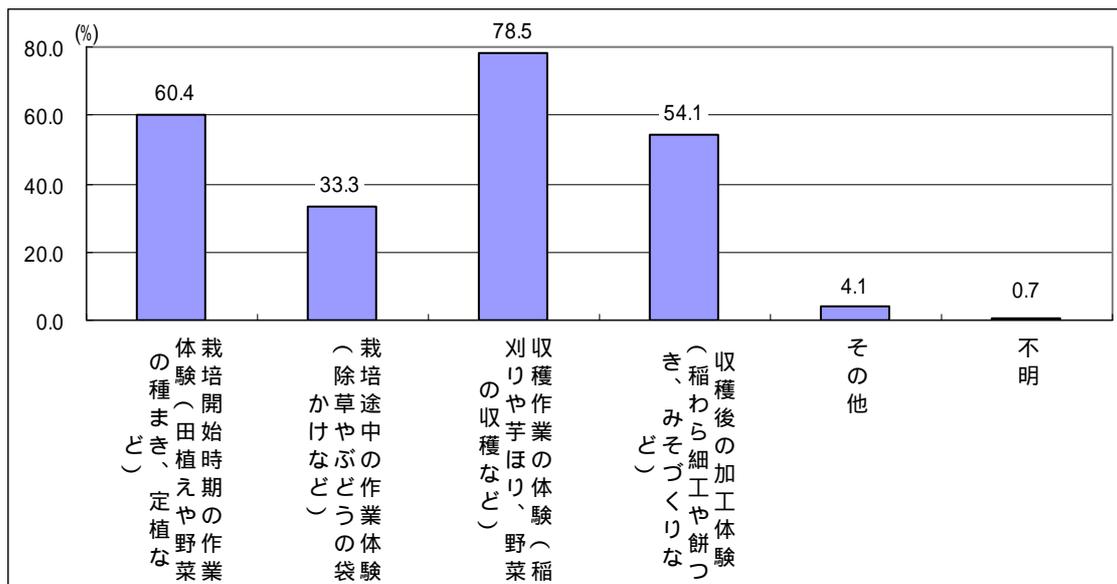


図表 238 青年・壮年・中年期×農体験への興味 [N=988]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

	合計	ある	ない	不明
合計	988	414	552	22
	100.0	41.9	55.9	2.2
青年期	219	87	130	2
	100.0	39.7	59.4	0.9
壮年期	300	142	154	4
	100.0	47.3	51.3	1.3
中年期	431	165	254	12
	100.0	38.3	58.9	2.8
不明	38	20	14	4
	100.0	52.6	36.8	10.5

図表 239 体験してみたい農体験 [N=414] (複数回答)



図表 240 青年・壮年・中年期 × 体験してみたい農体験 [N=414] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

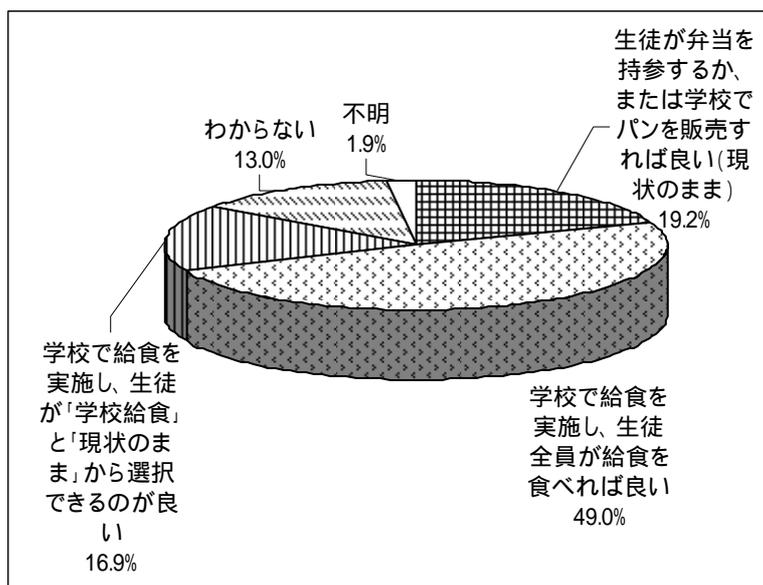
	合計	栽培開始時期の作業体験 (田植えや野菜の種まき、定植など)	栽培途中の作業体験 (除草やぶどうの袋かけなど)	収穫作業の体験 (稲刈りや芋ほり、野菜の収穫など)	収穫後の加工体験 (稲わら細工や餅つき、みそづくりなど)	その他	不明
合計	414	250	138	325	224	17	3
	100.0	60.4	33.3	78.5	54.1	4.1	0.7
青年期	87	45	24	69	51	3	-
	100.0	51.7	27.6	79.3	58.6	3.4	-
壮年期	142	91	44	119	84	4	2
	100.0	64.1	31.0	83.8	59.2	2.8	1.4
中年期	165	109	67	123	82	10	-
	100.0	66.1	40.6	74.5	49.7	6.1	-
不明	20	5	3	14	7	-	1
	100.0	25.0	15.0	70.0	35.0	-	5.0

(5) 中学校給食に関する食育の取組に対する考え

中学校給食に関する食育の取組に対する考えについてきいたところ、「学校で給食を実施し、生徒全員が給食を食べれば良い」という回答が49.0%と最も多くなっています。一方、「生徒が弁当を持参するか、または学校でパンを販売すれば良い(現状のまま)」という声も19.2%みられます。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期は「生徒が弁当を持参するか、または学校でパンを販売すれば良い(現状のまま)」をあげる人が最も多いのに対し、壮年期、中年期は「学校で給食を実施し、生徒全員が給食を食べれば良い」をあげる人が半数以上を占めています。

図表 241 中学校給食に関する食育の取組に対する考え [N=988]



図表 242 青年・壮年・中年期 × 中学校給食に関する食育の取組に対する考え [N=988]

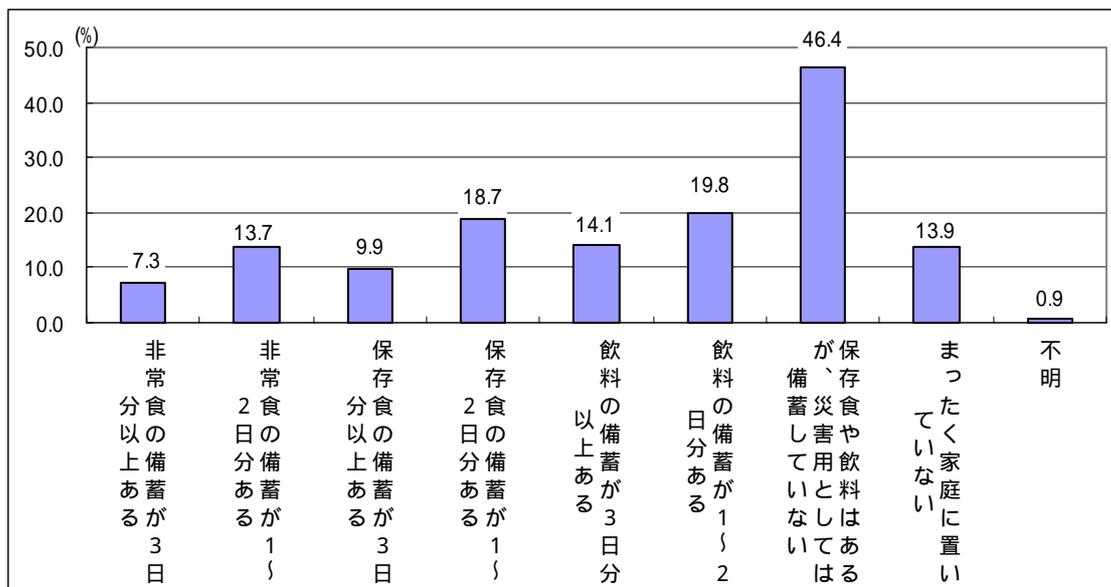
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	生徒が弁当を持参するか、または学校でパンを販売すれば良い(現状のまま)	学校で給食を実施し、生徒全員が給食を食べれば良い	学校で給食を実施し、生徒が「学校給食」と「現状のまま」から選択できるのが良い	わからない	不明
合計	988	190	484	167	128	19
	100.0	19.2	49.0	16.9	13.0	1.9
青年期	219	78	74	39	27	1
	100.0	35.6	33.8	17.8	12.3	0.5
壮年期	300	38	180	46	31	5
	100.0	12.7	60.0	15.3	10.3	1.7
中年期	431	62	216	79	67	7
	100.0	14.4	50.1	18.3	15.5	1.6
不明	38	12	14	3	3	6
	100.0	31.6	36.8	7.9	7.9	15.8

(6) 非常食・保存食・飲料の備蓄状況

非常食・保存食・飲料の備蓄については、「保存食や飲料はあるが、災害用としては備蓄していない」という回答が46.4%と最も多くなっています。非常食については、「備蓄が1～2日分ある」という回答が13.7%と多く、保存食については、「備蓄が1～2日分ある」という回答が18.7%と多くなっています。

図表 243 非常食・保存食の備蓄状況 [N=988] (複数回答)



図表 244 青年・壮年・中年期×非常食・保存食の備蓄状況 [N=988] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

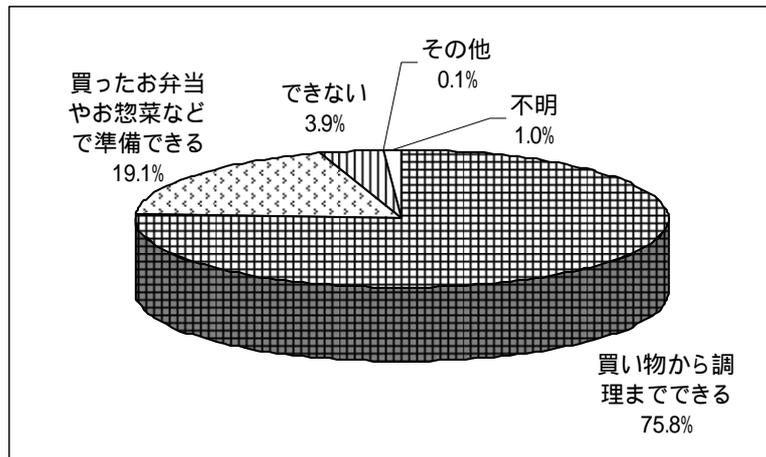
	合計	非常食の備蓄が3日分以上ある	非常食の備蓄が1～2日分ある	保存食の備蓄が3日分以上ある	保存食の備蓄が1～2日分ある	飲料の備蓄が3日分以上ある	飲料の備蓄が1～2日分ある	保存食や飲料はあるが災害用としては備蓄していない	まったく家庭に置いていない	不明
合計	988	72	135	98	185	139	196	458	137	9
	100.0	7.3	13.7	9.9	18.7	14.1	19.8	46.4	13.9	0.9
青年期	219	21	28	20	37	28	38	94	38	-
	100.0	9.6	12.8	9.1	16.9	12.8	17.4	42.9	17.4	-
壮年期	300	14	32	22	56	42	58	144	48	2
	100.0	4.7	10.7	7.3	18.7	14.0	19.3	48.0	16.0	0.7
中年期	431	36	68	55	87	66	92	207	46	3
	100.0	8.4	15.8	12.8	20.2	15.3	21.3	48.0	10.7	0.7
不明	38	1	7	1	5	3	8	13	5	4
	100.0	2.6	18.4	2.6	13.2	7.9	21.1	34.2	13.2	10.5

(7) 食事の準備

1人で1回分の食事の準備ができるかどうかきいたところ、「買い物から調理までできる」という回答が75.8%と圧倒的に多くなっています。

性別青年・壮年・中年期別にみると、青年期の男女とも「できない」や「買ったお弁当やお惣菜などで準備できる」が他に比べて多くなっています。

図表 245 1人で食事の準備ができるか [N=988]



図表 246 性×青年・壮年・中年期×1人で食事の準備ができるか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

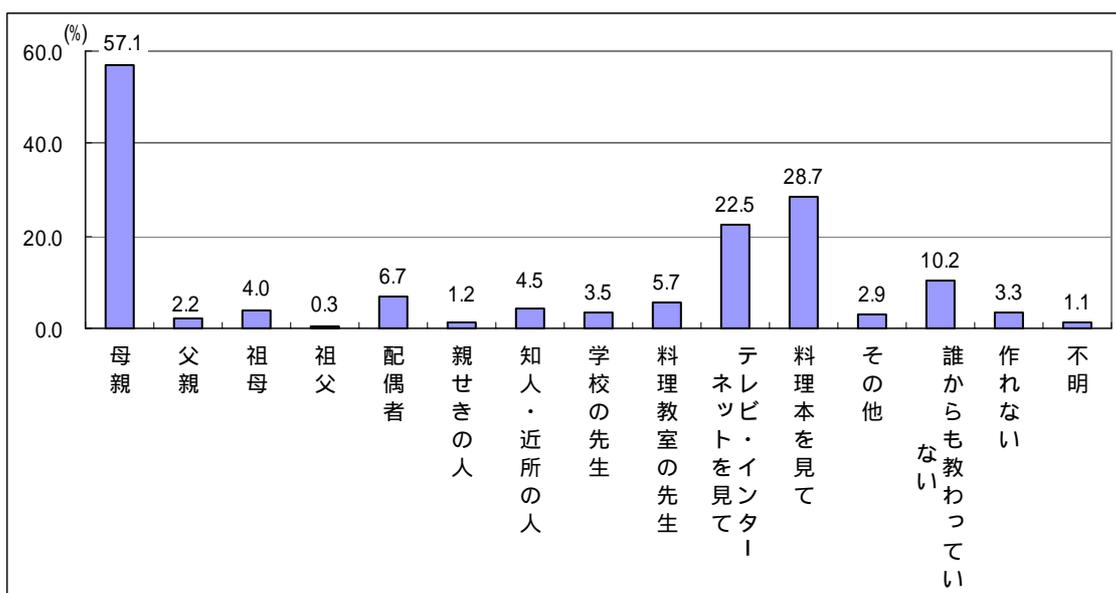
性別	年齢区分	合計	買い物から調理までできる	買ったお弁当やお惣菜などで準備できる	できない	その他	不明
合計		988	749	189	39	1	10
		100.0	75.8	19.1	3.9	0.1	1.0
男性	合計	344	182	136	24	-	2
		100.0	52.9	39.5	7.0	-	0.6
	青年期	87	37	41	9	-	-
		100.0	42.5	47.1	10.3	-	-
	壮年期	78	46	31	1	-	-
		100.0	59.0	39.7	1.3	-	-
	中年期	163	91	57	13	-	2
	100.0	55.8	35.0	8.0	-	1.2	
不明	16	8	7	1	-	-	
	100.0	50.0	43.8	6.3	-	-	
女性	合計	634	561	52	15	1	5
		100.0	88.5	8.2	2.4	0.2	0.8
	青年期	132	90	34	8	-	-
		100.0	68.2	25.8	6.1	-	-
	壮年期	220	202	11	3	1	3
		100.0	91.8	5.0	1.4	0.5	1.4
中年期	265	257	6	1	-	1	
	100.0	97.0	2.3	0.4	-	0.4	
不明	17	12	1	3	-	1	
	100.0	70.6	5.9	17.6	-	5.9	
不明	10	6	1	-	-	3	
	100.0	60.0	10.0	-	-	30.0	

(8) メニューや調理の習得

日常の食事のメニューや調理方法を教わった相手としては、「母親」が57.1%と最も多くなっています。「料理本を見て」、「テレビ・インターネットを見て」という回答もそれぞれ25%程度みられます。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期は大半が「母親」としていますが、壮年期、中年期も「母親」は多いものの、それ以外であがっているものとして壮年期では「テレビ・インターネットを見て」、「料理本を見て」が、中年期では「料理本を見て」が多くなっています。

図表 247 メニューや調理を誰から教わったか [N=988] (複数回答)



図表 248 青年・壮年・中年期×メニューや調理を誰から教わったか [N=988] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

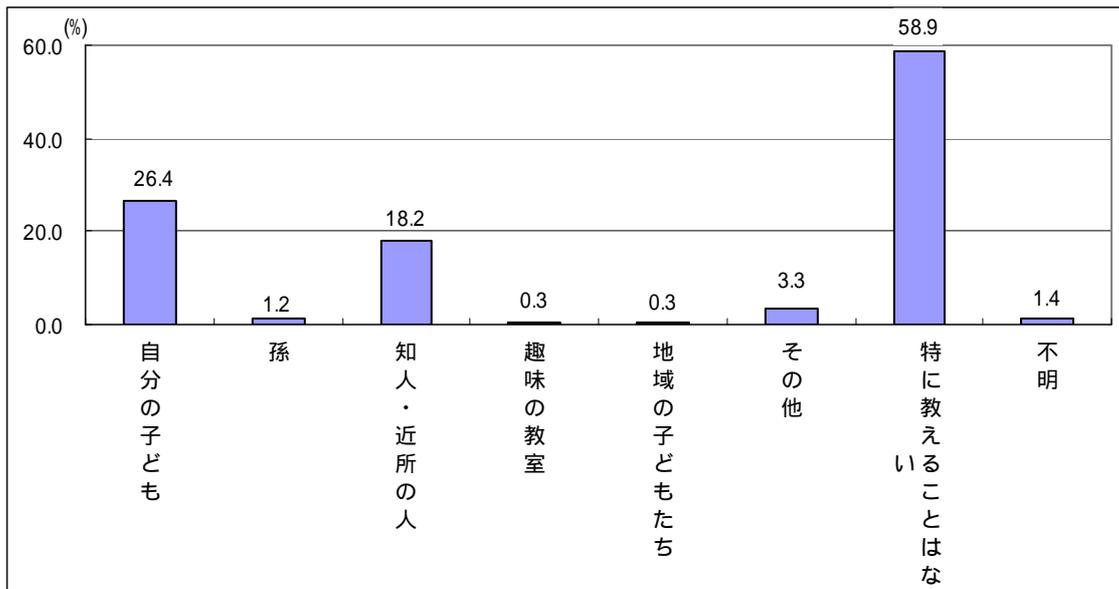
	合計	母親	父親	祖母	祖父	配偶者	親せきの人	知人・近所の人	学校の先生	料理教室の先生	テレビ・インターネットを見て	料理本を見て	その他	誰からも教わっていない	作れない	不明
合計	988	564	22	40	3	66	12	44	35	56	222	284	29	101	33	11
	100.0	57.1	2.2	4.0	0.3	6.7	1.2	4.5	3.5	5.7	22.5	28.7	2.9	10.2	3.3	1.1
青年期	219	155	9	12	1	1	3	3	18	3	39	28	4	16	13	-
	100.0	70.8	4.1	5.5	0.5	0.5	1.4	1.4	8.2	1.4	17.8	12.8	1.8	7.3	5.9	-
壮年期	300	190	6	13	2	17	4	10	14	16	93	110	9	21	7	3
	100.0	63.3	2.0	4.3	0.7	5.7	1.3	3.3	4.7	5.3	31.0	36.7	3.0	7.0	2.3	1.0
中年期	431	199	7	12	-	47	3	30	2	37	83	141	14	60	11	3
	100.0	46.2	1.6	2.8	-	10.9	0.7	7.0	0.5	8.6	19.3	32.7	3.2	13.9	2.6	0.7
不明	38	20	-	3	-	1	2	1	1	-	7	5	2	4	2	5
	100.0	52.6	-	7.9	-	2.6	5.3	2.6	2.6	-	18.4	13.2	5.3	10.5	5.3	13.2

(9) メニューや調理の指導

日常の食事のメニューや調理方法を教える相手としては、「特に教えることはない」という回答が58.9%と最も多く、次いで、「自分の子ども」が26.4%となっています。

青年・壮年・中年期別にみると、青年期は大半が「特に教えることはない」としています。一方、壮年期、中年期では「自分の子ども」、「知人・近所の人」をあげる人が青年期に比べて多くなっています。

図表 249 メニューや調理を誰かに教えることがあるか [N=988] (複数回答)



図表 250 青年・壮年・中年期×メニューや調理を誰かに教えることがあるか [N=988] (複数回答)

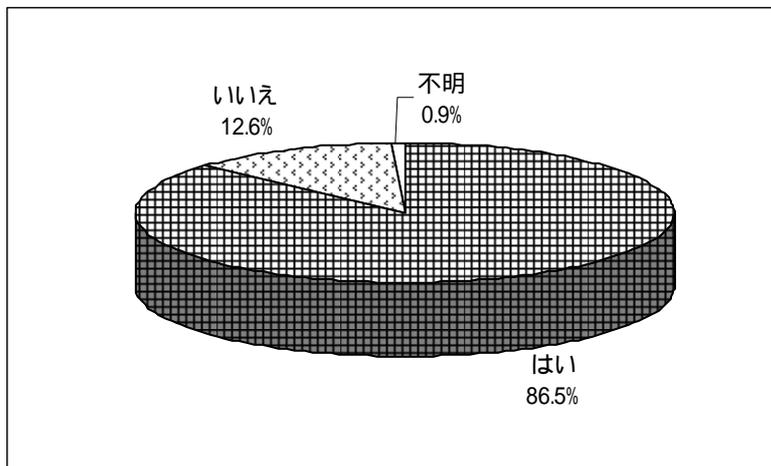
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	も 自 分の 子 ど	孫	の 知 人 ・ 近 所	趣 味 の 教 室	も 地 域 の 子 ど も た ち	そ の 他	こ と は な い 特 に 教 え る	不 明
合計	988	261	12	180	3	3	33	582	14
	100.0	26.4	1.2	18.2	0.3	0.3	3.3	58.9	1.4
青年期	219	-	-	19	-	1	2	196	1
	100.0	-	-	8.7	-	0.5	0.9	89.5	0.5
壮年期	300	68	-	58	2	1	16	177	4
	100.0	22.7	-	19.3	0.7	0.3	5.3	59.0	1.3
中年期	431	183	10	96	1	1	13	189	5
	100.0	42.5	2.3	22.3	0.2	0.2	3.0	43.9	1.2
不明	38	10	2	7	-	-	2	20	4
	100.0	26.3	5.3	18.4	-	-	5.3	52.6	10.5

(10) 食前の手洗い

食事前の手洗いの実施については、「はい(洗う)」が86.5%、「いいえ(洗わない)」が12.6%となっています。

図表 251 食前に手洗いをするか [N=988]



図表 252 青年・壮年・中年期×食前に手洗いをするか [N=988]

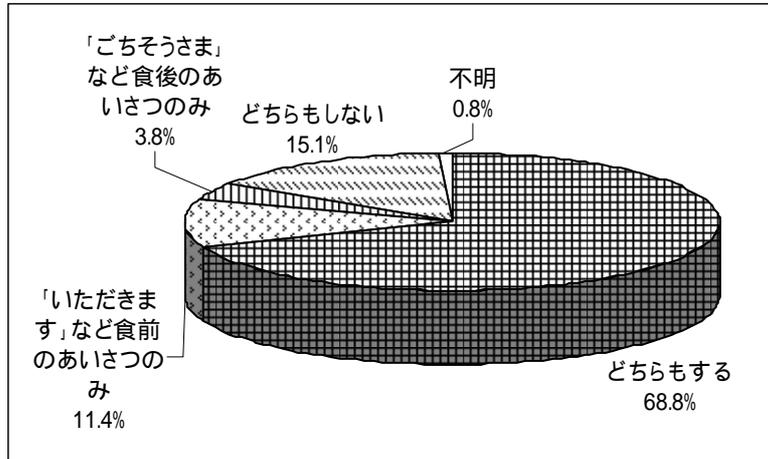
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	はい	いいえ	不明
合計	988	855	124	9
	100.0	86.5	12.6	0.9
青年期	219	155	64	-
	100.0	70.8	29.2	-
壮年期	300	273	25	2
	100.0	91.0	8.3	0.7
中年期	431	400	29	2
	100.0	92.8	6.7	0.5
不明	38	27	6	5
	100.0	71.1	15.8	13.2

(11) 食事の前後のあいさつ

食事の前後のあいさつについては、「いただきます・ごちそうさま」どちらもする」という回答が68.8%と最も多くなっています。

図表 253 食事の前後にあいさつをするか [N=988]



図表 254 青年・壮年・中年期×食事の前後にあいさつをするか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

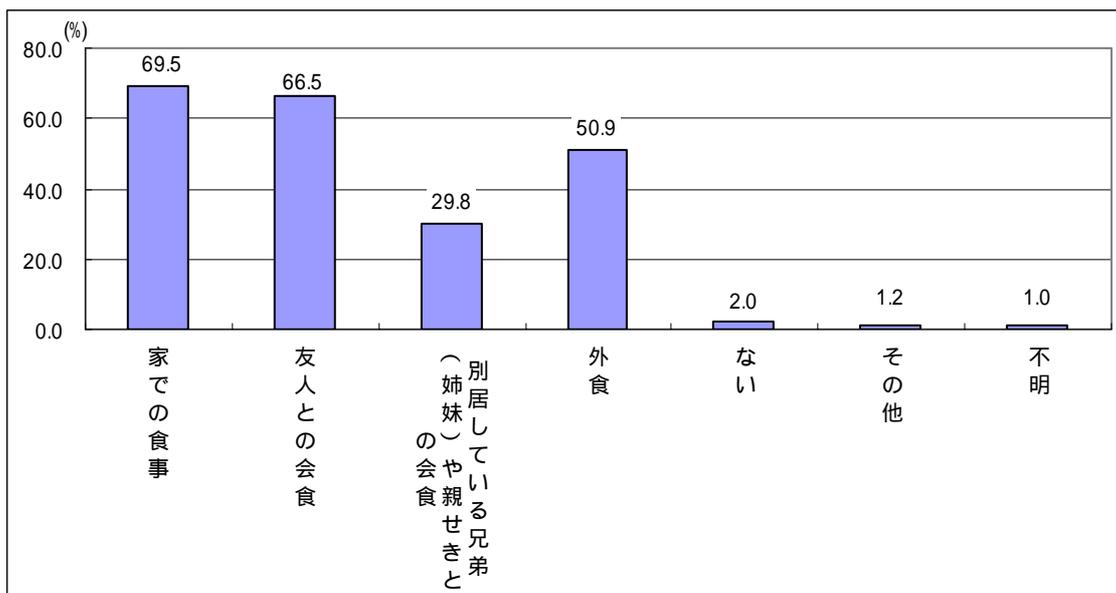
	合計	どちらもする	「いただきます」 など食前のあい さつのみ	「ごちそうさま」 など食後のあい さつのみ	どちらもしない	不明
合計	988	680	113	38	149	8
	100.0	68.8	11.4	3.8	15.1	0.8
青年期	219	157	23	11	28	-
	100.0	71.7	10.5	5.0	12.8	-
壮年期	300	231	27	5	36	1
	100.0	77.0	9.0	1.7	12.0	0.3
中年期	431	263	61	20	84	3
	100.0	61.0	14.2	4.6	19.5	0.7
不明	38	29	2	2	1	4
	100.0	76.3	5.3	5.3	2.6	10.5

(12) 食事が楽しいと思うとき

食事が楽しいと思うときについては、「家での食事」が69.5%と最も多く、次いで、「友人との会食」が66.5%となっています。

性別・青年・壮年・中年期別にみると、大きな違いはみられないものの、女性は全体的にあげている人が多くなっています。特に「友人との会食」、「外食」をあげる人が男性に比べて多くなっています。また、壮年期男性では「家での食事」をあげる人が多くなっています。

図表 255 食事が楽しいと思うとき [N=988] (複数回答)



第5章 青年・壮年・中年期

図表 256 性×青年・壮年・中年期×食事が楽しいと思うとき [N=988] (複数回答)

[単位:(上段)件/(下段)%]

性別	年齢区分	合計	家での食事	友人との会食	別居している兄弟(姉妹)や親せきの会食	外食	ない	その他	不明	
男性	合計	344	238	198	71	138	10	5	3	
		100.0	69.2	57.6	20.6	40.1	2.9	1.5	0.9	
	青年期	87	51	65	17	38	2	1	-	
		100.0	58.6	74.7	19.5	43.7	2.3	1.1	-	
	壮年期	78	62	44	17	36	1	-	1	
		100.0	79.5	56.4	21.8	46.2	1.3	-	1.3	
	中年期	163	114	82	35	61	7	2	2	
		100.0	69.9	50.3	21.5	37.4	4.3	1.2	1.2	
	不明	16	11	7	2	3	-	2	-	
		100.0	68.8	43.8	12.5	18.8	-	12.5	-	
	女性	合計	634	444	454	221	364	9	7	4
			100.0	70.0	71.6	34.9	57.4	1.4	1.1	0.6
青年期		132	93	95	32	80	1	-	-	
		100.0	70.5	72.0	24.2	60.6	0.8	-	-	
壮年期		220	161	175	93	137	2	4	2	
		100.0	73.2	79.5	42.3	62.3	0.9	1.8	0.9	
中年期		265	181	177	92	138	5	3	-	
		100.0	68.3	66.8	34.7	52.1	1.9	1.1	-	
不明		17	9	7	4	9	1	-	2	
		100.0	52.9	41.2	23.5	52.9	5.9	-	11.8	
不明		10	5	5	2	1	1	-	3	
		100.0	50.0	50.0	20.0	10.0	10.0	-	30.0	
合計	988	687	657	294	503	20	12	10		
	100.0	69.5	66.5	29.8	50.9	2.0	1.2	1.0		

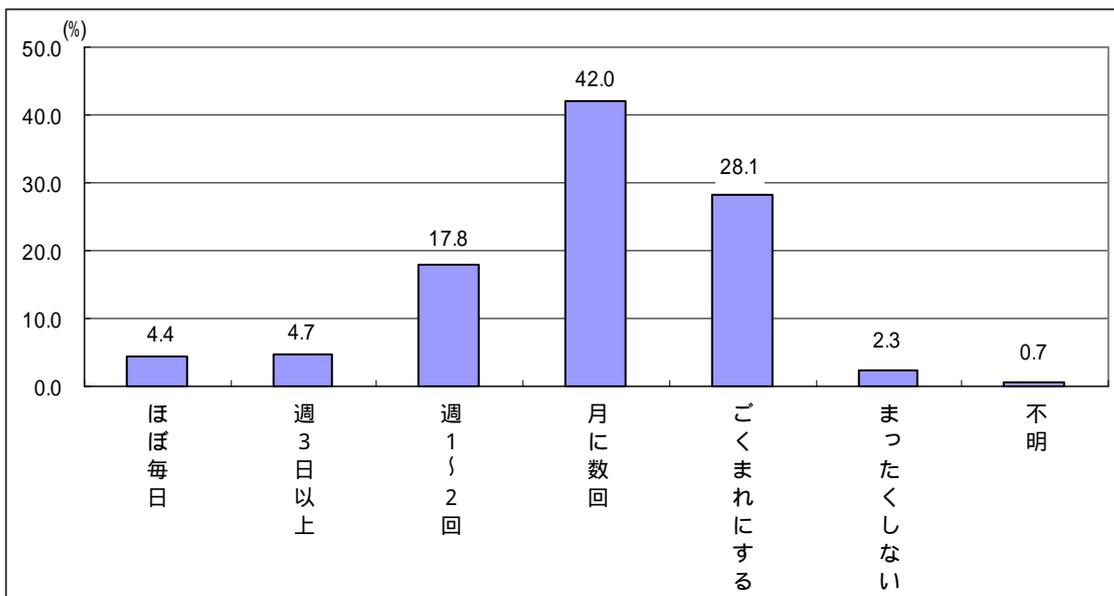
5. 外食について

(1) 外食の頻度

外食の頻度については、「月に数回」が42.0%と最も多く、次いで、「ごくまれにする」が28.1%となっており、「まったくしない」人は2.3%います。

青年・壮年・中年期別にみると、壮年期では、「週1～2回」の人が他に比べて多く、外食の頻度が高いといえます。

図表 257 外食の頻度 [N=988]



図表 258 青年・壮年・中年期×外食の頻度 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

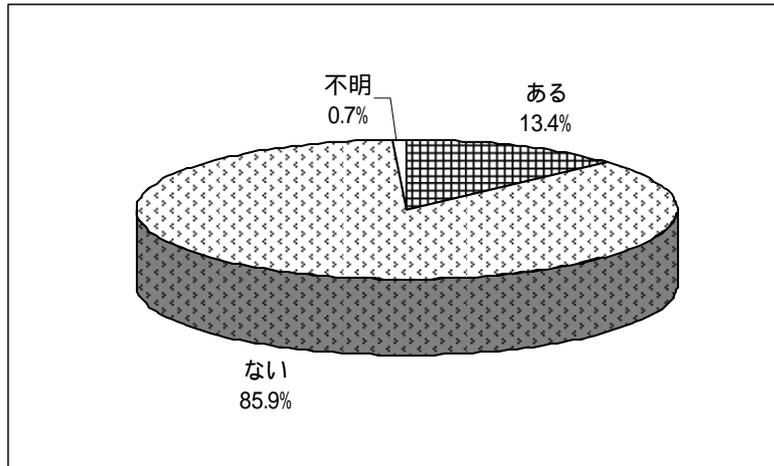
	合計	ほぼ毎日	上週3日以上	週1～2回	月に数回	ごくまれにする	まったくしない	不明
合計	988	43	46	176	415	278	23	7
	100.0	4.4	4.7	17.8	42.0	28.1	2.3	0.7
青年期	219	8	15	42	99	48	7	-
	100.0	3.7	6.8	19.2	45.2	21.9	3.2	-
壮年期	300	17	13	73	133	59	4	1
	100.0	5.7	4.3	24.3	44.3	19.7	1.3	0.3
中年期	431	18	18	58	166	158	11	2
	100.0	4.2	4.2	13.5	38.5	36.7	2.6	0.5
不明	38	-	-	3	17	13	1	4
	100.0	-	-	7.9	44.7	34.2	2.6	10.5

(2) 「うちのお店も健康づくり応援団」マークの認知度

「うちのお店も健康づくり応援団」マークの認知度について、見たことが「ない」という回答が85.9%と、「ある」という回答の13.4%を大きく上回っています。

青年・壮年・中年期別にみると、年齢が低い方が知っている人が多くなっています。

図表 259 「うちのお店も健康づくり応援団」マークを見たことがあるか[N=988]



図表 260 青年・壮年・中年期×「うちのお店も健康づくり応援団」マークの認知度 [N=988]

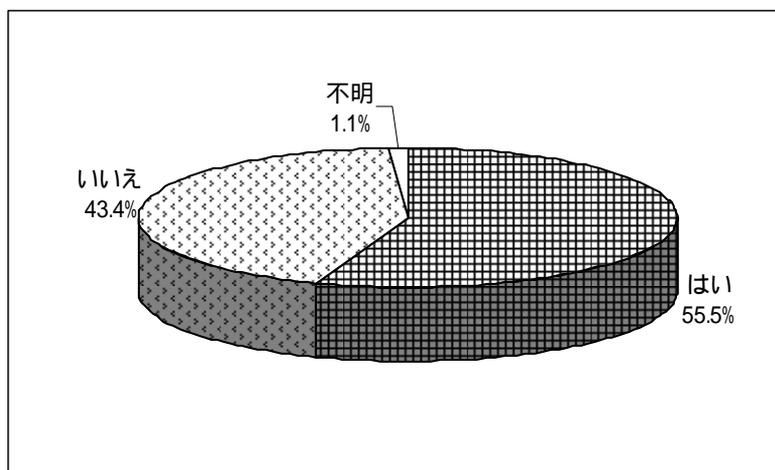
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	ある	ない	不明
合計	988	132	849	7
	100.0	13.4	85.9	0.7
青年期	219	48	171	-
	100.0	21.9	78.1	-
壮年期	300	42	257	1
	100.0	14.0	85.7	0.3
中年期	431	36	393	2
	100.0	8.4	91.2	0.5
不明	38	6	28	4
	100.0	15.8	73.7	10.5

(3) ヘルシーメニューの提供

外食等でヘルシーメニューの提供を希望するか聞いたところ、「はい(希望する)」という回答が55.5%と、「いいえ(希望しない)」という回答をやや上回っています。

図表 261 外食等でヘルシーメニューの提供を希望するか [N=988]



図表 262 青年・壮年・中年期×外食等でヘルシーメニューの提供を希望するか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

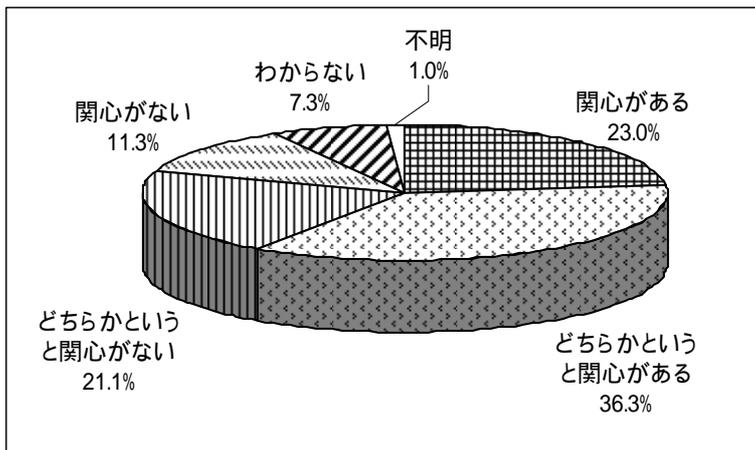
	合計	はい	いいえ	不明
合計	988	548	429	11
	100.0	55.5	43.4	1.1
青年期	219	104	114	1
	100.0	47.5	52.1	0.5
壮年期	300	184	114	2
	100.0	61.3	38.0	0.7
中年期	431	247	180	4
	100.0	57.3	41.8	0.9
不明	38	13	21	4
	100.0	34.2	55.3	10.5

6. お口の健康について

(1) 食べ方への関心

噛み方、味わい方のような食べ方への関心については、「どちらかというに関心がある」が36.3%と最も多く、次いで、「関心がある」が23.0%となっています。

図表 263 食べ方への関心 [N=988]



図表 264 青年・壮年・中年期×食べ方への関心 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

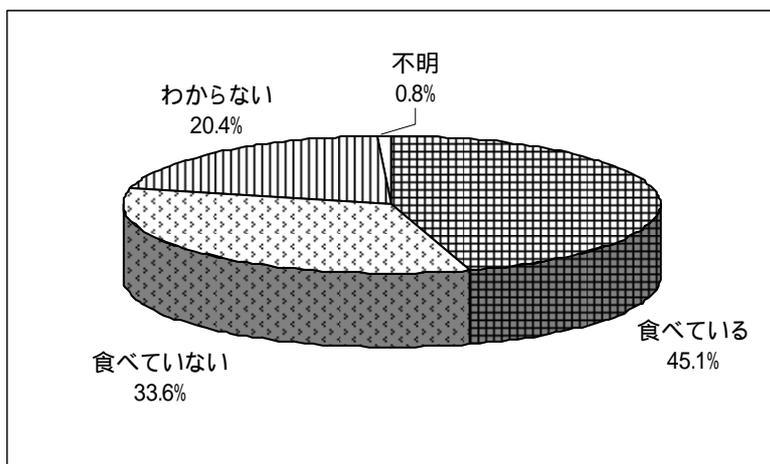
	合計	関心がある	どちらかというに関心がある	どちらかというに関心がない	関心がない	わからない	不明
合計	988	227	359	208	112	72	10
	100.0	23.0	36.3	21.1	11.3	7.3	1.0
青年期	219	41	60	48	41	29	-
	100.0	18.7	27.4	21.9	18.7	13.2	-
壮年期	300	71	121	60	31	16	1
	100.0	23.7	40.3	20.0	10.3	5.3	0.3
中年期	431	103	172	91	35	25	5
	100.0	23.9	39.9	21.1	8.1	5.8	1.2
不明	38	12	6	9	5	2	4
	100.0	31.6	15.8	23.7	13.2	5.3	10.5

(2) よく噛んで、味わって食べているか

よく噛んで、味わって食べているかきいたところ、「食べている」という回答が45.1%と、「食べていない」という回答の33.6%を上回っています。

BMI別にみると、「25以上30未満(太り気味)」では、よく噛んで、味わって「食べていない」という回答が6割にのぼっています。

図表 265 よく噛んで、味わって食べているか [N=988]



図表 266 青年・壮年・中年期 × よく噛んで、味わって食べているか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	食べている	食べていない	わからない	不明
合計	988	446	332	202	8
	100.0	45.1	33.6	20.4	0.8
青年期	219	99	57	63	-
	100.0	45.2	26.0	28.8	-
壮年期	300	129	116	55	-
	100.0	43.0	38.7	18.3	-
中年期	431	202	149	77	3
	100.0	46.9	34.6	17.9	0.7
不明	38	16	10	7	5
	100.0	42.1	26.3	18.4	13.2

図表 267 BMI × よく噛んで、味わって食べているか [N=988]

[単位：(上段)件 / (下段)%]

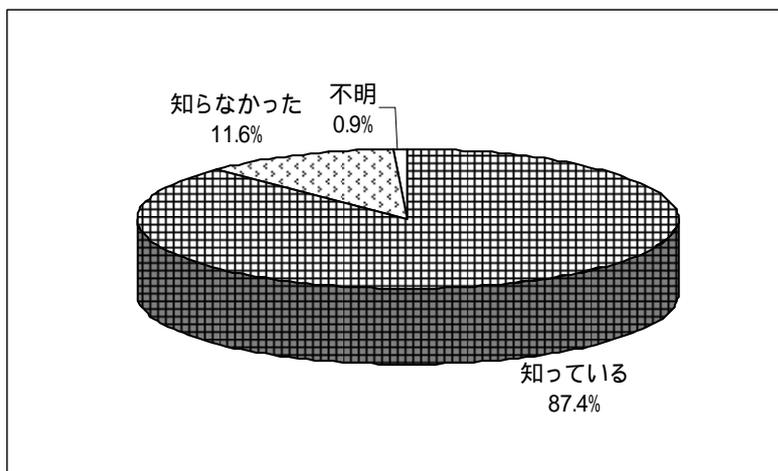
	合計	食べている	食べていない	わからない	不明
合計	988	446	332	202	8
	100.0	45.1	33.6	20.4	0.8
18.5未満(低体重)	140	74	35	31	-
	100.0	52.9	25.0	22.1	-
18.5以上25未満(普通)	671	321	205	141	4
	100.0	47.8	30.6	21.0	0.6
25以上30未満(太り気味)	120	31	71	17	1
	100.0	25.8	59.2	14.2	0.8
30以上(肥満)	24	8	11	5	-
	100.0	33.3	45.8	20.8	-
不明	33	12	10	8	3
	100.0	36.4	30.3	24.2	9.1

(3) よく噛むことが肥満予防になることの認知度

よく噛むことが肥満予防になることについて、「知っている」という回答が87.4%と、「知らなかった」という回答の11.6%を大幅に上回っています。

青年・壮年・中年期別にみると、どの世代も知っている人が大半ですが、青年期では「知らなかった」人が他に比べて多くなっています。

図表 268 よく噛むことが肥満予防になることの認知度 [N=988]



図表 269 青年・壮年・中年期×よく噛むことが肥満予防になることの認知度 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

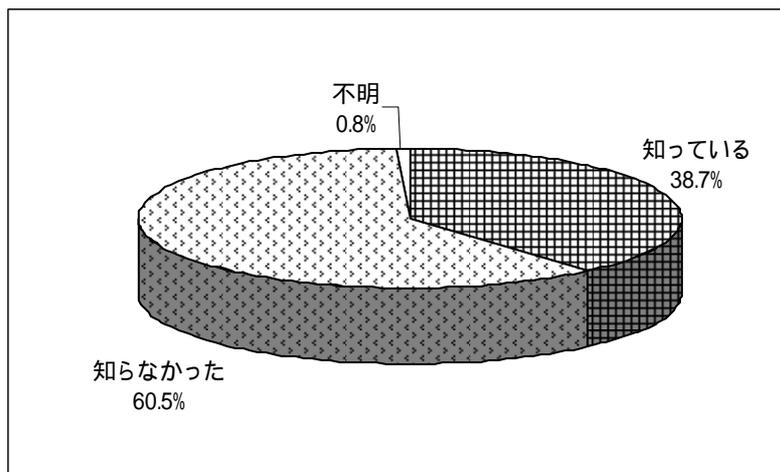
	合計	知っている	知らなかった	不明
合計	988	864	115	9
	100.0	87.4	11.6	0.9
青年期	219	176	42	1
	100.0	80.4	19.2	0.5
壮年期	300	283	17	-
	100.0	94.3	5.7	-
中年期	431	381	46	4
	100.0	88.4	10.7	0.9
不明	38	24	10	4
	100.0	63.2	26.3	10.5

(4) 糖尿病と歯周病との相互関係

糖尿病と歯周病の関係性について、「知らなかった」という回答が60.5%を占めています。

青年・壮年・中年期別にみると、年齢が高いほど「知っている」人が多くなっています。

図表 270 糖尿病と歯周病が影響しあい悪化の原因となることを知っているか [N=988]



図表 271 青年・壮年・中年期×糖尿病と歯周病が影響しあい悪化の原因となることを知っているか [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

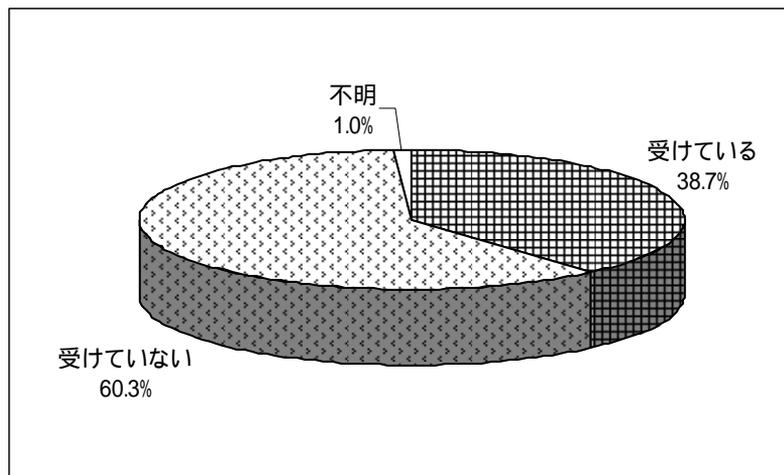
	合計	知っている	知らなかった	不明
合計	988	382	598	8
	100.0	38.7	60.5	0.8
青年期	219	61	158	-
	100.0	27.9	72.1	-
壮年期	300	113	186	1
	100.0	37.7	62.0	0.3
中年期	431	195	233	3
	100.0	45.2	54.1	0.7
不明	38	13	21	4
	100.0	34.2	55.3	10.5

(5) 歯科健診

定期的な歯科健診の受診については、「受けていない」が60.3%と「受けている」の38.7%を大きく上回っています。

青年・壮年・中年期別にみると、年齢が高いほど「受けている」人が多くなっています。

図表 272 定期的な歯科健診の受診状況 [N=988]



図表 273 青年・壮年・中年期×歯科健診の状況 [N=988]

[単位:(上段)件/(下段)%]

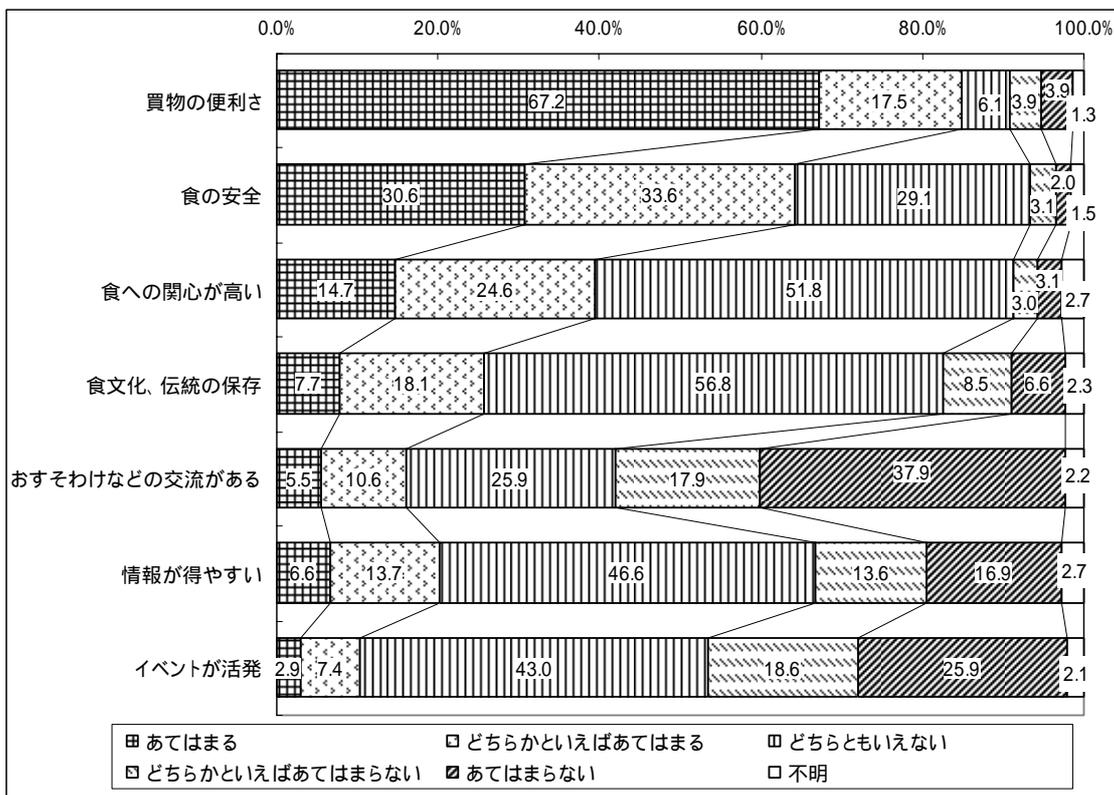
	合計	受けている	受けていない	不明
合計	988	382	596	10
	100.0	38.7	60.3	1.0
青年期	219	62	157	-
	100.0	28.3	71.7	-
壮年期	300	116	184	-
	100.0	38.7	61.3	-
中年期	431	189	236	6
	100.0	43.9	54.8	1.4
不明	38	15	19	4
	100.0	39.5	50.0	10.5

7. 豊中市食育推進計画について

(1) 地域の食環境

地域の食環境についてきいたところ、「買物の便利さ」や「食の安全」については概ね肯定的な評価が多くなっています。

図表 274 地域の食環境 [N=988]



図表 275 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【買物の便利さ】

[単位：(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はいど まると え ばあ て	いど えな いと も	はいど まると え ばあ て	な あ て は ま ら	不 明
合計	988	664	173	60	39	39	13
	100.0	67.2	17.5	6.1	3.9	3.9	1.3
青年期	219	142	46	17	3	9	2
	100.0	64.8	21.0	7.8	1.4	4.1	0.9
壮年期	300	196	58	16	16	13	1
	100.0	65.3	19.3	5.3	5.3	4.3	0.3
中年期	431	300	66	24	20	15	6
	100.0	69.6	15.3	5.6	4.6	3.5	1.4
不明	38	26	3	3	-	2	4
	100.0	68.4	7.9	7.9	-	5.3	10.5

図表 276 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【食の安全】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え ば あ て	ど ち ら か と	い え な い	ど ち ら と も	は ま ら な い あ て	ど ち ら か と	あ て は ま ら な い	不明
合計	988	302	332	288	31	20	15			
	100.0	30.6	33.6	29.1	3.1	2.0	1.5			
青年期	219	62	71	70	7	6	3			
	100.0	28.3	32.4	32.0	3.2	2.7	1.4			
壮年期	300	100	99	82	9	7	3			
	100.0	33.3	33.0	27.3	3.0	2.3	1.0			
中年期	431	127	155	124	14	6	5			
	100.0	29.5	36.0	28.8	3.2	1.4	1.2			
不明	38	13	7	12	1	1	4			
	100.0	34.2	18.4	31.6	2.6	2.6	10.5			

図表 277 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【食への関心が高い】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え ば あ て	ど ち ら か と	も い え な い	ど ち ら と も	は ま ら な い あ て	ど ち ら か と	あ て は ま ら な い	不明
合計	988	145	243	512	30	31	27			
	100.0	14.7	24.6	51.8	3.0	3.1	2.7			
青年期	219	35	38	120	12	9	5			
	100.0	16.0	17.4	54.8	5.5	4.1	2.3			
壮年期	300	42	77	159	8	9	5			
	100.0	14.0	25.7	53.0	2.7	3.0	1.7			
中年期	431	59	122	217	8	12	13			
	100.0	13.7	28.3	50.3	1.9	2.8	3.0			
不明	38	9	6	16	2	1	4			
	100.0	23.7	15.8	42.1	5.3	2.6	10.5			

図表 278 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【食文化、伝統の保存】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え は あ て	どちらか と	い え な い	どちらと も	は ま ら な い	い え は あ て	ど ち ら か と	な い	あ て は ま ら	不 明
合計	988	76	179	561	84	65	23					
	100.0	7.7	18.1	56.8	8.5	6.6	2.3					
青年期	219	19	33	124	23	18	2					
	100.0	8.7	15.1	56.6	10.5	8.2	0.9					
壮年期	300	29	60	165	27	17	2					
	100.0	9.7	20.0	55.0	9.0	5.7	0.7					
中年期	431	24	81	252	33	28	13					
	100.0	5.6	18.8	58.5	7.7	6.5	3.0					
不明	38	4	5	20	1	2	6					
	100.0	10.5	13.2	52.6	2.6	5.3	15.8					

図表 279 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【おすそ分けなどの交流がある】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はまる い え は あ て	どちらか と	い え な い	どちらと も	は ま ら な い	い え は あ て	ど ち ら か と	な い	あ て は ま ら	不 明
合計	988	54	105	256	177	374	22					
	100.0	5.5	10.6	25.9	17.9	37.9	2.2					
青年期	219	19	22	62	36	77	3					
	100.0	8.7	10.0	28.3	16.4	35.2	1.4					
壮年期	300	12	34	74	56	122	2					
	100.0	4.0	11.3	24.7	18.7	40.7	0.7					
中年期	431	20	45	107	80	167	12					
	100.0	4.6	10.4	24.8	18.6	38.7	2.8					
不明	38	3	4	13	5	8	5					
	100.0	7.9	10.5	34.2	13.2	21.1	13.2					

図表 280 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【情報が得やすい】

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はいえ はまる どちらか あて	いえない どちらとも	はいえ はまらない どちらか あて	ない あては まら	不明
合計	988	65	135	460	134	167	27
	100.0	6.6	13.7	46.6	13.6	16.9	2.7
青年期	219	15	24	120	24	33	3
	100.0	6.8	11.0	54.8	11.0	15.1	1.4
壮年期	300	19	48	146	37	46	4
	100.0	6.3	16.0	48.7	12.3	15.3	1.3
中年期	431	27	62	179	68	81	14
	100.0	6.3	14.4	41.5	15.8	18.8	3.2
不明	38	4	1	15	5	7	6
	100.0	10.5	2.6	39.5	13.2	18.4	15.8

図表 281 青年・壮年・中年期×地域の食環境 [N=988]

【イベントが活発】

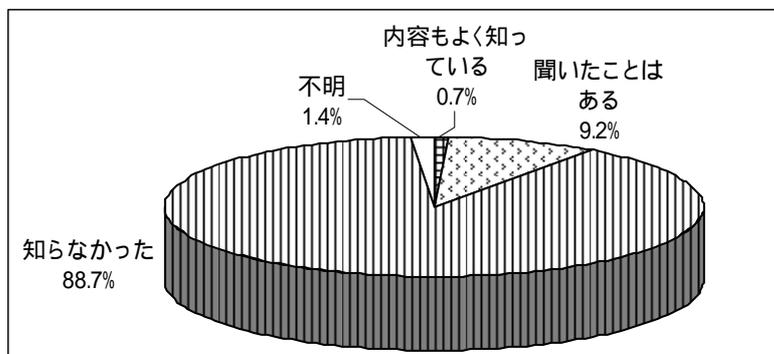
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	あてはまる	はいえ はまる どちらか あて	いえない どちらとも	はいえ はまらない どちらか あて	ない あては まら	不明
合計	988	29	73	425	184	256	21
	100.0	2.9	7.4	43.0	18.6	25.9	2.1
青年期	219	10	13	97	39	58	2
	100.0	4.6	5.9	44.3	17.8	26.5	0.9
壮年期	300	4	30	138	54	73	1
	100.0	1.3	10.0	46.0	18.0	24.3	0.3
中年期	431	12	27	177	83	119	13
	100.0	2.8	6.3	41.1	19.3	27.6	3.0
不明	38	3	3	13	8	6	5
	100.0	7.9	7.9	34.2	21.1	15.8	13.2

(2) 「豊中市食育推進計画」の認知度

「豊中市食育推進計画」の認知度については、「内容もよく知っている」が0.7%、「聞いたことはある」が9.2%と、「豊中市食育推進計画」を知っている人は9.9%となっています。一方、「知らなかった」という回答が88.7%となっています。

図表 282 「豊中市食育推進計画」の認知度 [N=988]



図表 283 青年・壮年・中年期 × 「豊中市食育推進計画」の認知度 [N=988]

[単位：(上段)件 / (下段) %]

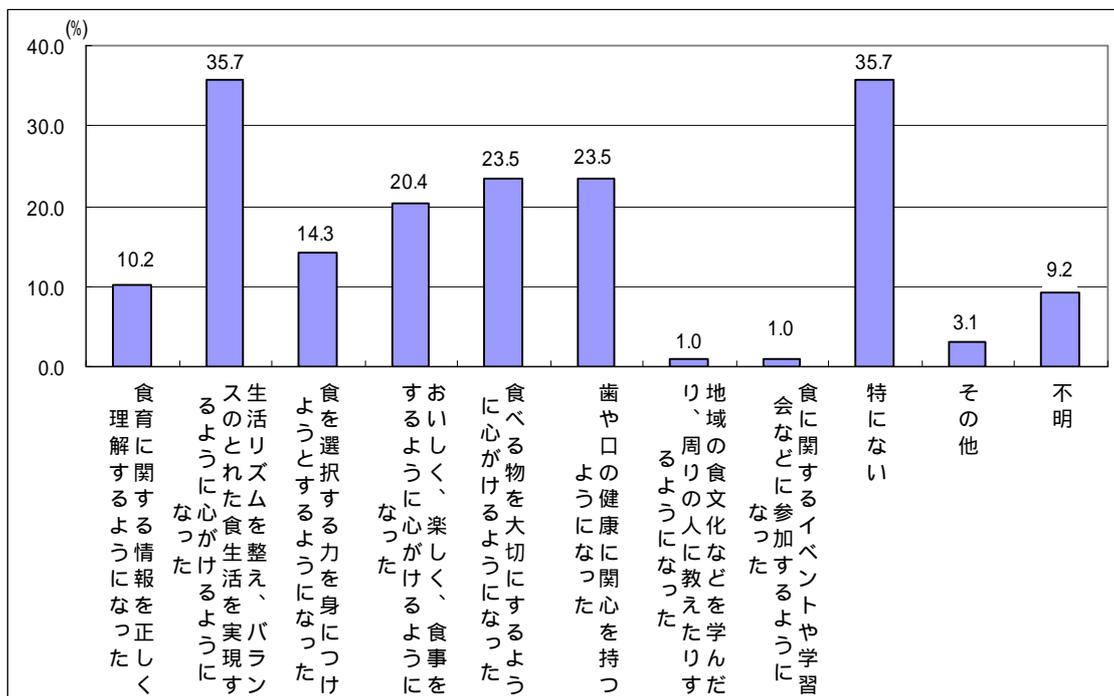
	合計	いく る知 容 つも てよ	と聞 いた こ はあ るこ	つ知 たら なか	不 明
合計	988	7	91	876	14
	100.0	0.7	9.2	88.7	1.4
青年期	219	2	13	204	-
	100.0	0.9	5.9	93.2	-
壮年期	300	1	30	264	5
	100.0	0.3	10.0	88.0	1.7
中年期	431	2	44	380	5
	100.0	0.5	10.2	88.2	1.2
不明	38	2	4	28	4
	100.0	5.3	10.5	73.7	10.5

(3) 「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化

「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化についてきいたところ、何らかの意識の変化があった人では、「生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現するように心がけるようになった」という回答が35.7%と最も多くなっています。次いで、「食べる物を大切にしように心がけるようになった」と「歯や口の健康に関心を持つようになった」が23.5%と続いています。一方、「特にない」という回答も35.7%あります。

青年・壮年・中年期別にみると、全体的に中年期は他に比べて意識的な変化をあげる人が多くなっています。

図表 284 「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化 [N=98] (複数回答)



図表 285 青年・壮年・中年期 × 「豊中市食育推進計画」策定後の意識の変化 [N=98] (複数回答)

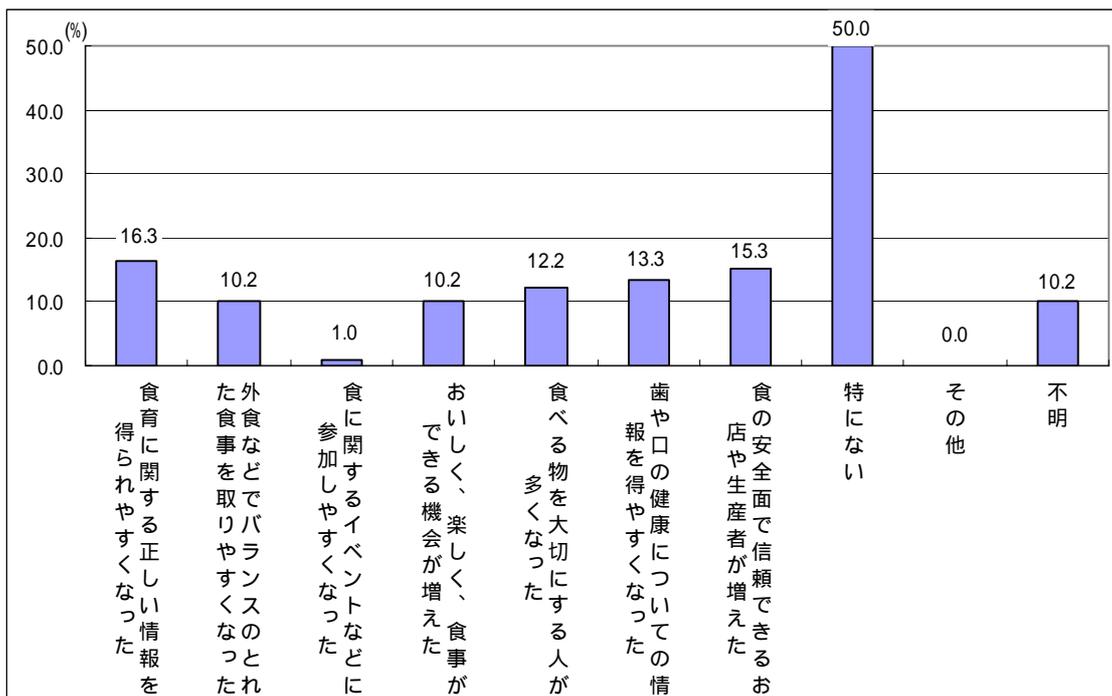
[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	食育に関する情報を正しく理解するようになった	生活リズムを整え、バランスのとれた食生活を実現するよう心がけるようになった	食を選択する力を身につけようとするようになった	おいしく、楽しく、食事をするよう心がけるようになった	食べる物を大切にしように心がけるようになった	歯や口の健康に関心を持つようになった	地域の食文化などを学んだり、周りの人に教えたりするようになった	食に関するイベントや学習会などに参加するようになった	特にない	その他	不明
合計	98	10	35	14	20	23	23	1	1	35	3	9
	100.0	10.2	35.7	14.3	20.4	23.5	23.5	1.0	1.0	35.7	3.1	9.2
青年期	15	-	2	1	2	2	1	-	-	7	-	3
	100.0	-	13.3	6.7	13.3	13.3	6.7	-	-	46.7	-	20.0
壮年期	31	1	10	-	2	4	4	-	1	12	3	2
	100.0	3.2	32.3	-	6.5	12.9	12.9	-	3.2	38.7	9.7	6.5
中年期	46	7	20	10	14	13	16	1	-	15	-	4
	100.0	15.2	43.5	21.7	30.4	28.3	34.8	2.2	-	32.6	-	8.7
不明	6	2	3	3	2	4	2	-	-	1	-	-
	100.0	33.3	50.0	50.0	33.3	66.7	33.3	-	-	16.7	-	-

(4) 「豊中市食育推進計画」策定後の環境の変化

「豊中市食育推進計画」策定後の食生活を取り巻く環境の変化については、変化があったとする人のなかでは、「食育に関する正しい情報を得られやすくなった」が16.3%と最も多く、次いで、「食の安全面で信頼できるお店や生産者が増えた」が15.3%、「歯や口の健康についての情報を得やすくなった」が13.3%となっています。一方、「特にない」という回答が50.0%あります。

図表 286 「豊中市食育推進計画」策定後の環境の変化 [N=98]



第5章 青年・壮年・中年期

図表 287 青年・壮年・中年期 × 「豊中市食育推進計画」策定後の環境の変化 [N=98]

[単位:(上段)件/(下段)%]

	合計	食育に関する正しい情報を得られやすくなった	外食などでバランスのとれた食事を取りやすくなった	食に関するイベントなどに参加しやすくなった	おいしく、楽しく、食事ができる機会が増えた	食べる物を大切にしている人が多くなった	歯や口の健康についての情報を得やすくなった	食の安全面で信頼できるお店や生産者が増えた	特にない	その他	不明
合計	98	16	10	1	10	12	13	15	49	-	10
	100.0	16.3	10.2	1.0	10.2	12.2	13.3	15.3	50.0	-	10.2
青年期	15	2	3	-	-	-	-	1	8	-	2
	100.0	13.3	20.0	-	-	-	-	6.7	53.3	-	13.3
壮年期	31	3	1	-	1	2	-	5	19	-	3
	100.0	9.7	3.2	-	3.2	6.5	-	16.1	61.3	-	9.7
中年期	46	10	4	1	7	8	10	8	19	-	5
	100.0	21.7	8.7	2.2	15.2	17.4	21.7	17.4	41.3	-	10.9
不明	6	1	2	-	2	2	3	1	3	-	-
	100.0	16.7	33.3	-	33.3	33.3	50.0	16.7	50.0	-	-